

令和7年度（第1回）山口市公共交通委員会 議事次第

令和7年6月5日（木）14:00～16:00

山口市役所4階 庁議室

1 議事(委員会事業)

(1)令和6年度事業報告・評価について

(2)令和6年度決算について

①歳入歳出決算報告

②監査報告

(3)令和7年度事業計画について

①山口市総合時刻表

②山口市ノーマイカーデー

③パーク・サイクル・アンド・ライド

④車両運転体験会、運転士確保

⑤公共交通教室

⑥クルマと公共交通の上手な使い方を考えるプロジェクト（MM）

⑦山口市民公共交通週間

2 報告事項

(1)第二次山口市市民交通計画の進捗状況について

(2)コミュニティバス実証運行事業について

(3)コミュニティタクシー運行促進事業について

(4)徳地生活バスA I デマンド交通（藤木エリアの組み入れ等）について

(5)グループタクシー利用促進事業について

(6)シェアサイクル実証事業について

(7)バス・タクシー運転士就職奨励金制度について

3 その他

参考資料 ・ 令和7年度予算書

・ 山口市公共交通委員会設置要綱

令和7年度山口市公共交通委員会委員名簿

役 職	氏 名	所 属 等
委員長	田 中 和 人	山口市
副委員長	鈴 木 文 彦	交通ジャーナリスト
委 員	森 栗 茂 一	大阪大学
	鈴 木 春 菜	山口大学
	増 本 好 夫	山口市自治会連合会
	徳 永 雅 典	山口市社会福祉協議会
	大 原 敏 之	山口商工会議所
	藤 井 利 佳	国土交通省中国運輸局山口運輸支局
	山 根 裕 市	国土交通省中国地方整備局山口河川国道事務所
	田 村 良 雄	山口県観光スポーツ文化部交通政策課
	林 久 晃	山口県山口警察署
	中 嶋 行 彦	山口県防府土木建築事務所
	西 嶋 俊 輔	西日本旅客鉄道株式会社広島支社地域交通（山口）
	河 合 貴 志	防長交通株式会社
	渡 瀬 千 博	J Rバス中国株式会社
	黒 田 寛	宇部市交通局
	後 藤 聖 治	有限会社嘉川タクシー
	則 安 聡 一 郎	島地タクシー有限会社
	村 上 忍	一般社団法人 Happy Education
	藤 田 英 二	社会福祉法人アス・ライフ
	藤 江 祥 子	市民公募委員
	三 浦 た か 子	市民公募委員

令和7年度第1回山口市公共交通委員会席次表

令和7年6月5日（木）14時から
山口市役所4階 庁議室

交通ジャーナリスト 鈴木 文彦 副委員長		山口市副市長 田中 和人 委員長	
山口県防府土木建築事務所 山口支所 維持管理第二課 課長 中嶋 行彦 委員		大阪大学 招聘教授 森栗 茂一 委員	
西日本旅客鉄道株式会社 中国統括本部広島支社地域 交通（山口）課長 西嶋 俊輔 委員		山口大学 准教授 鈴木 春菜 委員	
防長交通株式会社 乗合営業部長 河合 貴志 委員		国土交通省中国運輸局 山口運輸支局 首席運輸企画専門官 國宗 裕司 委員代理	
JRバス中国株式会社 運 輸部 生活交通活性化推進 室 室長 渡瀬 千博 委員		国土交通省中国地方整備局 山口河川国道事務所 山口国道維持出張所 所長 山根 裕市 委員	
宇部市交通局 交通事業課 副課長 黒田 寛 委員		山口県観光スポーツ文化部 交通政策課 課長 田村 良雄 委員	
山口地区タクシー協会 有限会社嘉川タクシー 代表取締役社長 後藤 聖治 委員		山口県山口警察署 交通課 交通総務係 係長 藪木 一則 委員代理	
山口地区タクシー協会 島地タクシー有限会社 代表取締役 則安 聡一郎 委員		市民公募委員 藤江 祥子 委員	
社会福祉法人アス・ライフ 理事長 藤田 英二 委員		市民公募委員 三浦 たか子 委員	

事 務 局				
山口市交通政策課 主幹 岡村 浩二	山口市交通政策課 課長 山本 哲也	山口市都市整備部長 清水 弘美	山口市都市整備部次長 小野 智紀	山口市都市整備部 技術担当次長 山根 智成
事務局	事務局	事務局	事務局	事務局

随行

傍聴席

令和 7 年度第 1 回 山口市公共交通委員会

議事

議事(1)	令和 6 年度事業計画・評価について	・ ・ ・	1
議事(2)	令和 6 年度決算について	・ ・ ・	1 5
議事(3)	令和 7 年度事業計画について	・ ・ ・	1 9

令和6年度山口市公共交通委員会 事業報告・評価

①山口市総合時刻表（決算額 3,220,194 円）

事業内容	事業評価
1 山口市総合時刻表 ① 発行状況 令和6年10月改訂版:17,000 部 令和7年4月通年版:20,000 部 	■実施効果 配布数の追加希望や、市民から役立っているとの声をいただいていることから、公共交通利用者の利便性向上に一定の効果が認められます。 電子データを市ウェブサイト上に公開するなど、利用促進に努めています。 ■課題・改善策 各交通事業者において、10月にダイヤ改正を行う路線が比較的に少ないため、省資源化、効率化を図る観点から、年2回の発行を4月の1回としました。なお、10月には、必要に応じてダイヤ改正情報を記載した小冊子の発行を予定しています。 また、令和6年度第4回公共交通委員会での御意見を踏まえて、令和7年4月通年版では、よく使う経路等をメモすることができる「マイ時刻表」のページを作成しました。 引き続き、多くの方に利用してもらえる時刻表となるよう、利用者の声を取り入れながら、できる限り使いやすい時刻表の発行を引き続き検討します。
②配布・設置場所 公共施設 バス車内 駅構内 観光案内所 大型商業施設 病院 等	

②山口市ノーマイカーデー(決算額 283,168円)

事業内容	事業評価
1 山口市ノーマイカーデー ノーマイカーデーの推進により、公共交通の利用促進、二酸化炭素排出量の削減、交通渋滞の緩和、事故の防止に向けたノーマイカー通勤の習慣化を図っています。 令和6年度も、毎月月末金曜日を山口市ノーマイカーデーとして取り組みました。また、公共交通を利用するきっかけづくりとして、ノーマイカーデーの日にバス半額割引や協賛施設・店舗の特典サービスを受けることができる「山口市ノーマイカーデーつなぐカード」をノーマイカーデー参加事業所・団体、個人に随時配布しました。	■実施効果 市内18事業所・団体 2,669 人、個人68 人が参加しました。 事業所・団体の実施率は20%前後、実施者のうち公共交通利用者は16%前後の状と令和5年度と横ばいでした。 ■課題・改善策 令和6年度から、参加事業者等の負担軽減を図るため、実施報告回数を毎月から年4回(4月、7月、10月、1月)へ変更しました。 実施率と公共交通利用率向上のため、ソーシャルメディア等を活用しながら、引き続き、ノーマイカーデー数日前のメール等の呼びかけのほか、手軽で利用しやすいデジタル版「バス半額カード(旧つなぐカード)」の周知に努めます。

③パーク・アンド・ライド、サイクル・アンド・ライド事業(決算額 224 円)

事業内容	事業評価
1 置くとバス駐車場(パーク・アンド・ライド)事業(6ヵ所) 中山間地域等で慣れた地域内はマイカー移動が可能な高齢者を対象に、地域外へ移動する際に公共交通機関への乗り換えを推進するものです。 【既存の駐車場】 ① [徳地]防長交通(株)堀駐在(8 台分) 最寄り交通機関:「堀」バス停 ② [名田島]南総合センター(5 台分) 最寄り交通機関: 「南総合センター」バス停 ③ [鑄銭司]鑄銭司地域交流センター	■実施効果 防長交通堀駐在内の「置くとバス駐車場」については、平成30年12月末に利用開始し、ほぼ毎日5～6台程度の駐車があります。 鑄銭司地域交流センターについては、利用登録者が年々増加し、令和7年5月時点で101名となっている中、定期的な利用が1～3台程度あります。 令和6年度に新たに利用開始したJA小鯖支所及び阿東支所の駐車場については、毎日ではないものの、1～2台程度の利用があります。 こうしたことから、一定程度の実施効

(10 台分) 最寄り交通機関:JR 四辻駅 「四辻駅入口」バス停 ④[徳地]やまぐちサッカー交流広場 第 2 駐車場 最寄り交通機関: 「やまぐちサッカー交流広場」 「掛鼻」バス停 ⑤[小鯖]JA 小鯖支所駐車場(7 台分) 最寄り交通機関:「八反田」バス停 ⑥[阿東]JA 阿東支所駐車場 最寄り交通機関:JR 徳佐駅 「徳佐駅前」バス停 2 サイクル・アンド・ライド事業 (20 ヲ所) 自転車から公共交通機関への乗換用駐輪場を確保することにより、乗り継ぎをよくするものです。 【既存の駐輪場】 ①[仁保]スーパーまるしょう仁保店 ②[宮野]防長交通山口営業所 ③[大内]アルク大内店 ④[大内]大内地域交流センター ⑤[大内]ゆめタウン山口 ⑥[白石]一の坂川交通交流広場 ⑦[白石]山口市民会館 ⑧[白石]山口情報芸術センター ⑨[白石]アルク山口店 ⑩[湯田]ファミリーマート山口泉都町店 ⑪[湯田]コープいずみ店 ⑫[吉敷]吉敷地域交流センター ⑬[大歳]維新百年記念公園第 11 駐車場 ⑭[平川]アルク平川店 ⑮[平川]平川地域交流センター第2駐車	果があるものと考えています。 ■課題・改善策 引き続き、地域広報紙などを通じてさらなる周知を図ります。 また、鉄道駅や他の地域における設置も検討していきます。 ■実施効果 天候等にもより利用のない日もありましたが、2～5台程度の利用がなされており、効果があるものと考えています。 ■課題・改善策 停留所周辺に協力いただける店舗や事業者があることが条件となりますが、今後も要望を踏まえ、調整していきます。 引き続き、山口市総合時刻表や公共交通マップ、市報、ソーシャルメディア等を通じて広報を行っていきます。
---	---

場 ※センター建替工事のため、令和6年9月に第2駐車場へ移転 ①⑥[平川]JAふれあい平川支所 ※令和7年3月新設 ①⑦[小郡]上郷駅前駐輪場 ①⑧[小郡]小郡保健福祉センター ①⑨[秋穂]西中国信用金庫秋穂支店 ②⑩[阿知須]サンパークあじす店舗西側駐車場	
---	--

④運転士確保事業(決算額 1,166,633 円)

事業内容	事業評価
1 バス・タクシー運転士体験会&就業説明フェア 就業説明フェア 深刻な運転士不足に対応するため、相談ブースを設けた事業者との就業説明会やバスやタクシーを実際に運転できる機会を設けることで、運転士の仕事への理解を深め、就業へのきっかけづくりとすることを目的に下記のとおり実施しました。 	■実施効果 山口県央連携都市圏域(山口市、宇部市、萩市、防府市、美祢市、山陽小野田市、島根県津和野町)の7市町で連携して山口市、宇部市の2会場で実施しました。 総来場数49名となり、バス運転体験については38名、タクシー運転体験には11名の参加がありました。 就業を意識した参加を呼び掛けたため、就業説明ブースにおいては、バス運転体験に参加された方のみならず、バス運転体験されなかった方にも多く参加いただき、各ブースで長時間にわたり熱心に質問をされる姿が見られるなど、今後の運転士確保に繋がる取組を実施できました。後日、3名の方が実際に就業されました。 ■課題・改善策 イベントを通じて、実際の就業につながるよう、引き続き事業者とも連携しながら運転士確保に取り組めます。 また、山口県央連携都市圏域7市町において、更なる周知に取り組めます。

【実施状況】

①宇部会場

日 時 令和6年10月20日(日)

10時00分～16時00分

場 所 宇部中央自動車学校

②山口会場

日 時 令和6年11月17日(日)

10時00分～16時00分

場 所 山口県湯田自動車学校

【実施内容】

バス(中型)、タクシーの運転体験、タクシー車両操作見学会、就業説明・相談会

・共催 中国運輸局山口運輸支局

・後援 厚生労働省山口労働局

・協力 山口県、山口県バス協会、山口県タクシー協会



⑤公共交通教室(決算額 49,071円)

事業内容	事業評価
1 公共交通教室 バス事業者、山口運輸支局、山口県バス協会と連携しながら、主に小学校の児童を対象に、マナークイズ、車椅子での乗降体	■実施効果 令和6年度については計10回の開催となりました。 参加児童からは「バスにはじめて乗っ

験、路線バス乗車体験等を行いました。

参加者計:958 名

【実施状況】

①大内保育園・幼稚園

・実施日 令和 6 年 6 月 18 日(火)

・対 象 年中組～年長組 45 名

②大海小学校

・実施日 令和 6 年 7 月 12 日(金)

・対 象 1～2 年生 29 名

③おごおりウィークエンドアドベンチャー

・実施日 令和 6 年 8 月 10 日(土)

・対 象 4～6 年生 70 名

※実施主体はおごおりウィークエンド
アドベンチャー実行委員会

④山口大学附属小学校

・実施日 令和 6 年 8 月 29 日(木)

・対 象 1～6 年生 411 名

⑤平川小学校(特別支援学級)

・実施日 令和 6 年 9 月 13 日(金)

・対 象 4～6 年生 37 名

⑥阿知須小学校

・実施日 令和 6 年 10 月 4 日(金)

・対 象 1～2 年生 134 名

⑦中央小学校

・実施日 令和 6 年 10 月 7 日(月)

・対 象 1～2 年生 19 名

⑧二島小学校

・実施日 令和 6 年 10 月 11 日(金)

・対 象 1～2 年生 14 名

⑨良城小学校

・実施日 令和 6 年 11 月 21 日(木)

・対 象 2 年生 112 名

⑩大殿小学校

・実施日 令和 6 年 12 月 13 日(金)

・対 象 2 年生 87 名

た」「さらに興味をもった」「今後家族とも乗ってみたい」等の感想のほか、バス運転士を応援するメッセージもいただきました。また多くの学校から本事業の継続実施を希望するとの声をいただいています。

本教室を通じて、バスへの関心や理解を深めることができたものと評価しています。

■課題・改善策

今後については、現在の体制を維持しつつ、より良い実施方法について検討していく必要があります。

学校単位だけでなく、全市的に参加者を募集しての教室開催も検討していきたいと考えています。



2 広報・周知方法 小中学校への文書送付、地域交流センターへのポスター、チラシの配置、市報(4/15号)への掲載	
---	--

⑥クルマと公共交通の上手な使い方を考えるプロジェクト(決算額 1,198,528円)

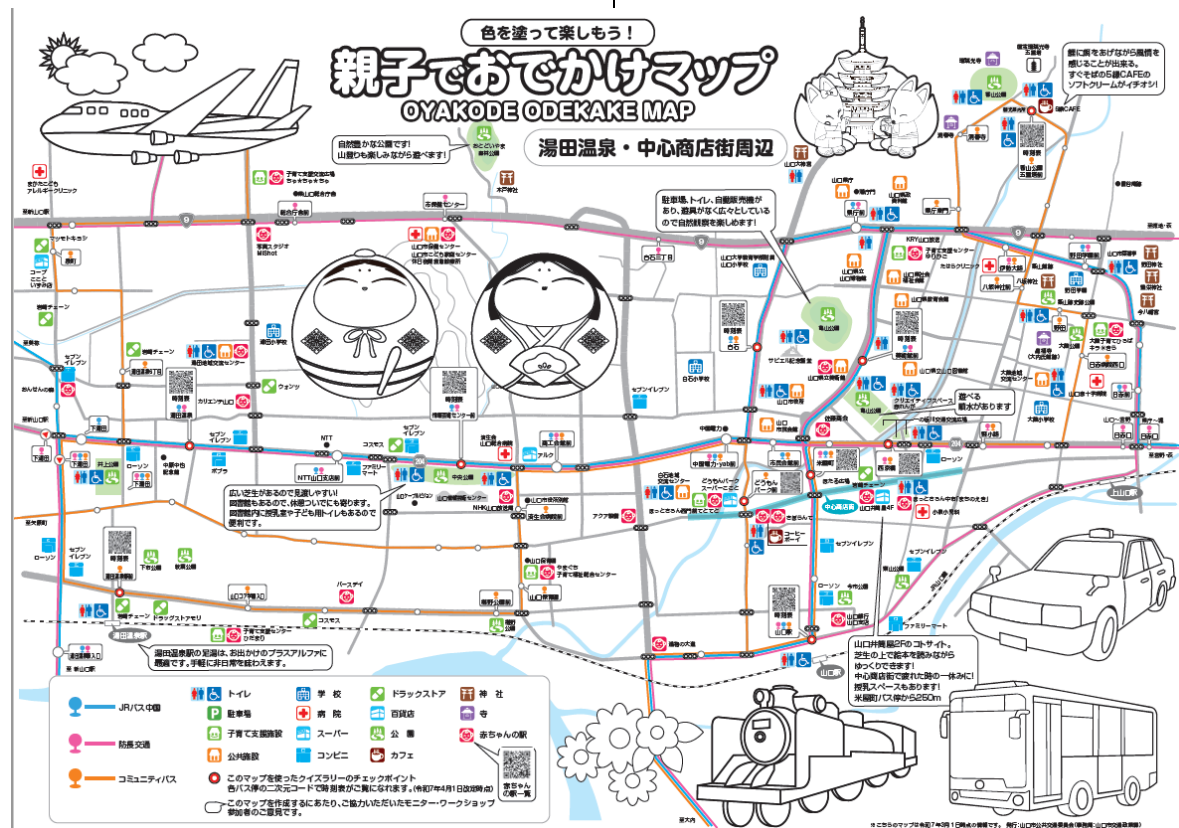
事業内容	事業評価
1 モビリティ・マネジメント(MM) 公共交通利用者が年々減少しており、公共交通機関の確保維持が大きな課題となっています。 こうした中で、①②のMMの取組を実施しました。 ① 子育て世代向け 令和5年度に子育て世代を対象に実施した「子育てと公共交通に関するアンケート」の結果を踏まえながら、公共交通の路線図や子育て世代に向けたお役立ち情報などをまとめた「おでかけマップ」の作成に向け、交通系 IC カードを使ったモニター調査や子育て世代の方が参画するワークショップを開催しました。 おでかけマップは、令和6年度末に完成しました。 【交通系ICカードモニター調査】 ・対象 小学生以下のお子さんがある市内の子育て世代(20～40代) ・実施期間 令和6年7月～9月 ・内容 1,500円をチャージした交通系ICカード(ICOCA)を配布。モニター申込と実施後の計2回アンケート調査を実施 【ワークショップ開催】 ・開催日 第1回 9月24日 第2回 11月27日 ・内容	■実施効果 ①子育て世代向け 【交通系ICカードモニター調査】 モニター数 70名 アンケート結果概要 モニターに参加し、「ICOCA が便利だった」「公共交通の利用意識が高まった」と回答された方が多く、モニターに訪れた場所の8割近くが「普段は自動車で訪れる場所」と回答されました。 【ワークショップ開催】 ワークショップでは、実際にモニターとして公共交通を利用した子育て世代にリアルな声を聴くことができ、マップの素案に

1 回目のワークショップでは、実際にモニターとして公共交通を利用した感想や「おでかけマップ」に掲載したい内容等を話し合いました。その後、意見を参考にマップの素案を作成しました。

2 回目のワークショップでは、マップの素案をもとに、マップについて意見交換を行いました。また、実際に最寄りのバス停から商店街までを歩いてみるワークショップを行いました。

2 回のワークショップで出た意見を基に、路線バスが多く走る湯田温泉・中心商店街周辺の「親子でおでかけマップ」が完成しました。エリア内の小学校や地域交流センター、子育て支援施設等を中心に配布しました。

対する意見を聴取することができました。



② 商工会議所会員向け

山口商工会議所と連携した取組として、事業所の経営者が率先して公共交通の利用に努め、従業員、顧客が通勤や買い物で公共交通を利用の創出を図るため、山口商工会議所に委託して、公共交通に関するセミナーと交通系 IC カードモニター調査を実施しました。

【セミナー開催】

- ・対象 商工会議所会員事業所代表者
- ・開催日 令和 6 年 9 月 30 日
- ・内容 モニター調査実施前の公共交通に関するセミナーとグループワーク

【交通系ICカードモニター調査】

- ・対象 商工会議所会員
- ・期間 令和 6 年 10 月～11 月
- ・内容 3,000 円をチャージした交通系 IC カード (ICOCA) を配布。モニター申込時、実施後、年度末の計 3 回アンケート調査を実施

※注1 モビリティ・マネジメント(MM)とは、多様な交通施策を活用し、個人や組織・地域のモビリティ(移動状況)が社会にも個人にも望ましい方向へ自発的に変化することを促す取組を指します。

② 商工会議所会員向け

【セミナー開催】

- ・参加者数 35 名(各事業所代表者)

公共交通の利用に向けた意識向上に向けたセミナーに加え、総合時刻表や公共交通マップを活用したグループワークも併せて開催し、モニター実施を前に、市内の公共交通について知ることができました。



【交通系ICカードモニター調査】

モニター数 113 名

アンケート結果概要

モニター参加者に、モニター調査実施前後の公共交通に対する意識の変化について聞いたところ、「車での移動中にバスやバス停が目にとまるようになった」、「お出かけの際に公共交通の利用を考えるようになった」という感想があり、モニター参加により公共交通が身近になったと考えられます。また、モニターの75%が「公共交通を利用するきっかけになった」と回答され、今後の公共交通利用に期待が持てる結果となりました。

■課題・改善策

市内の公共交通の利用促進を引き続き図るため、公共交通を利用する機会や意識醸成に取り組む必要があります。

2 市職員対象/エコ通勤推進 市職員が率先して取り組む「山口市エコ通勤」制度の実施率向上のため、公共交通の利用機会の創出につなげる取組を実施し、制度の浸透を図りました。また、エコ通勤の実施結果を市職員にフィードバックすることにより意識啓発を行いました。 また、新本庁舎移転に合わせて市職員向けの交通系ICカードモニター調査等が実施できるよう、令和6年度は市職員労働組合等と調整を行いました。 モニター調査実施時期 令和7年4～5月	そのため、令和6年度の取組の成果等を踏まえ、「親子でおでかけマップ」を活用して公共交通利用を促す取組や「やまぐちTAXIアプリ」を活用した取組を検討します。 ■実施効果(市職員対象) 通勤距離 4km 未満→月 4 回以上実施 通勤距離 4km 以上→月 2 回以上実施 達成率:26.6% 山口市ノーマイカーデー(月末金曜) 実施率:28.5% ■課題・改善策 「山口市ノーマイカーデー」と「山口市エコ通勤」について、参加者数や実施率などの実績が横ばい傾向のままマンネリ化しており、それぞれの取組の違いの分かりにくさ等が課題となっていました。より多くの市職員に利用しやすい環境を整えていく方向性のもと、令和7年度から、「山口市ノーマイカーデー」と「山口市エコ通勤」を一本化します。また、ノーマイカーデーに限らず、月1回以上は公共交通を使っていただく山口市ノーマイカーデー「プラス」を新たに導入します。
---	---

⑦ 山口市民公共交通週間(決算額 2,756,881 円)

事業内容	事業評価
1 山口市民公共交通週間 【実施期間】 令和6年10月21日(月)～27日(日) 公共交通の必要性や過度なマイカー利用がもたらす環境負荷、交通渋滞・事故等の社会的弊害を、市民の皆様へ情報提供し、公共交通を身近に体験していただくことを通じて、公共交通利用に対する意識醸成することを目的に山口市民公共交通週間を実施しました。 ①公共交通ふれあいフェスタ ・日 時 令和6年10月27日(日) 10 時～15 時 ・場 所 山口市中央公園 ・来場者数 2,300 名 ②市内一斉ノーマイカーデー ・日 時 令和6年10月25日(金)	■実施効果 公共交通週間において利用可能なバス半額券を市報及びふれあいフェスタのチラシに刷り込む形で、御家庭や小学生へ配布し、期間中 928 枚のバス半額券の利用がありました。  ①公共交通ふれあいフェスタ 山口市公共交通ふれあいフェスタを開催し、市内を中心に、多くの方に来場いただきました。 また、公共交通機関で来場された方には、抽選券をバス停等で渡すこととし、公共交通の利用促進にも努めました。 抽選券 配布枚数 682 枚 ※9 時半～11 時半の間配布。 家族連れの来場者を中心に、公共交通の利用を呼びかけることができました。  ②市内一斉ノーマイカーデー 市内事業者29社に御協力いただき、約 26%の方にマイカー以外の方法で通勤いただきました。

	■課題・改善策 市内事業者、市職員の市内一斉ノーマイカーデーへの参加促進をさらに図ります。 また、多くの方に公共交通に触れていただき、利用意識の醸成が図られるよう、市民公共交通週間の内容などについても検討し、引き続き、交通事業者と連携しながら、取り組んでまいります。
--	--

令和6年度

山口市総合時刻表
「公共交通に関するご意見・ご要望募集」内容一覧

(R7.3.31現在)

No	内容	対 応
1	こちらで要望することではないかもしれませんが防長バス(コミュニティバス)の時刻やルートをGoogleマップで確認できるように市から働きかけて欲しいです。 特に外国人観光客が増えて夏休みに入る今からGoogleマップ非対応というのは観光客にとっても不便で地元の人にとっても使いにくいと思います。 JRバスや宇部市営バスは対応していますが市内のほとんどをカバーする防長バスが非対応なのは特に不便に感じています。 一度防長バスにメールを送っていますが2024年の4月に対応させると返答があったもののそれから音沙汰無く現在も非対応のままです。 もし可能なら市が主導でGoogleマップの対応作業をしてほしいです。	防長交通に情報提供
2	高校生が山口駅から先の電車本数が少ないために 山口駅から先の駅を利用の子供は徒歩、保護者は送迎しているのを目にしませんか？ 通学、通勤時間はもちろんですが、電車の本数の検討を今一度してくだ	JR西日本に情報提供

令和6年度 山口市公共交通委員会歳入歳出決算書

歳入

(単位：円)

款	項	予算額	決算額	差引額
1 負担金	1 負担金	11, 103, 000	8, 960, 564	△ 2, 142, 436
2 諸収入	1 諸収入	230, 000	193, 241	△ 36, 759
合 計		11, 333, 000	9, 153, 805	△ 2, 179, 195

歳出

(単位：円)

款	項	予算額	決算額	増減
1 運営費	1 会議費	635, 000	464, 476	△ 170, 524
	2 事務費	30, 000	14, 630	△ 15, 370
2 事業費	1 事業費	10, 668, 000	8, 674, 699	△ 1, 993, 301
合 計		11, 333, 000	9, 153, 805	△ 2, 179, 195

議事(2)

決算（明細）

歳入

（単位：円）

科 目	当初予算額	節	決算額	説 明
款項目		区分		
1 負担金	11,103,000		8,960,564	
1 負担金	11,103,000		8,960,564	
1 負担金	11,103,000	1 地域負担金	8,960,564	山口市負担金（公共交通委員会運営事業負担金） 479,106 山口市負担金（交通政策推進事業負担金） 7,768,348 県央連携都市圏域市町負担金（公共交通活性化事業負担金） 713,110
2 諸収入	230,000		193,241	
1 諸収入	230,000		193,241	
1 雑入	1,000	1 預金利子	3,241	預金利子 3,241
2 広告掲載料収入	229,000	2 広告掲載料収入	190,000	山口市総合時刻表広告掲載料収入 190,000
合計	11,333,000		9,153,805	

歳出

（円）

科 目	当初予算額	節	決算額	説 明
款項目		区分		
1 運営費	665,000		479,106	
1 会議費	635,000		464,476	
1 会議費	635,000	8 報償費	208,400	報償金 208,400
		9 旅費	191,986	費用弁償 191,986
		11 需用費	54,780	印刷製本費 53,900
				消耗品費 880
		12 役務費	9,310	通信運搬費 9,310
2 事務費	30,000		14,630	
1 事務費	30,000	12 役務費	14,630	手数料 14,630
2 事業費	10,668,000		8,674,699	
1 事業費	10,668,000		8,674,699	
1 事業費	10,668,000	8 報償費	125,000	報償金 モビリティマネジメント 50,000 市民公共交通週間 30,000 公共交通活性化（運転士体験会） 45,000
		9 旅費	112,510	費用弁償 市民公共交通週間 39,570 公共交通活性化（運転士体験会） 72,940
		11 需用費	4,260,881	消耗品費 モビリティマネジメント 149,000 市民公共交通週間 40,000 公共交通教室 49,071 印刷製本費 時刻表 3,019,500 ノーマイカーデー 222,860 市民公共交通週間 364,650 公共交通活性化（運転士体験会） 136,400 モビリティマネジメント 279,400
		12 役務費	1,414,288	通信運搬費 モビリティマネジメント 42,280 時刻表・マップ 100,694 ノーマイカーデー 60,308 市民公共交通週間 79,506 公共交通活性化（運転士体験会） 37,250 広告料 市民公共交通週間 209,000 公共交通活性化（運転士体験会） 415,800 保険料 市民公共交通週間 30,207 公共交通活性化（運転士体験会） 439,243
		13 委託料	2,705,496	業務委託料 時刻表・マップ 100,000 市民公共交通週間 1,927,648 モビリティマネジメント 677,848
		14 使用料及び賃借料	56,524	使用料及び賃借料 市民公共交通週間 36,300 パーク・サイクルアンドライド 224 公共交通活性化（運転士体験会） 20,000
合計	11,333,000		9,153,805	

監 査 結 果 報 告 書

山口市公共交通委員会の令和6年度会計について、歳入歳出決算書及び関係諸帳簿等を監査した結果、正確かつ適正に処理されていることを認めます。

山口市公共交通委員会
委員長 田 中 和 人 様

令和7年 5 月 21 日

山口市公共交通委員会

監事 徳永雅典 

令和7年 5 月 21 日

山口市公共交通委員会

監事 増本好夫 

山口市総合時刻表発行及び情報提供について（案）

（予算額 1,904 千円）

1 目的

列車・路線バスを中心に、総合的な路線図・時刻表を更新・配布し、またインターネットによる情報提供を行うことにより、公共交通利用者の利便性の向上や情報不足の解消を図る。

2 事業内容

(1)総合時刻表の発行

昨年度まではダイヤ改正に合わせ年2回時刻表を発行していたが、今年度からは省資源化、効率化を図る観点から、4月の1回のみとする。10月には、ダイヤ改正の規模等に応じて、変更点を記載した小冊子またはリーフレットの発行を予定している。今後も、公共交通利用者や事業者の意見を踏まえながら、より使いやすい時刻表となるよう構成等の検討を行い、公共交通機関を利用しやすい環境を整備する。

■発行日：令和8年4月1日通年版
※10月は小冊子を発行予定

■発行部数：4月は20,000部予定
※10月は10,000部予定

■変更予定：ダイヤの更新等



▲令和7年4月1日通年版

(2)インターネットによる情報提供

市ウェブサイトにて時刻表データ及び公共交通マップを掲載し、より多くの方が利用できる環境を整える。また、ソーシャルメディアの活用も図る。



山口市ノーマイカーデーについて（案）

（予算額 350 千円）

1 実施概要

公共交通の利用促進・確保維持、二酸化炭素排出量の削減、交通渋滞の緩和や事故の防止に向けたノーマイカー通勤の習慣化を目的に、平成25年1月から「山口市ノーマイカーデー」を継続的に実施。平成30年度から実施日を毎月月末金曜日に変更し、さらなる参加事業所拡大に向け、市内事業所・団体及び個人の方に参加の呼びかけを行い、随時募集している。また、新たに令和7年度から、「月1回以上市内公共交通を利用すること」を目標としたノーマイカーデー「プラス」という取組を導入する。

- ◆ 実施日：毎月月末金曜日（令和7年4月～令和8年3月）
- ◆ 対象者：山口市民及び市内の事業所・団体・学校に通勤・通学する方

2 参加特典

「山口市ノーマイカーデバス半額カード」（旧つなぐカード）

市内を運行するバス事業者と協賛店舗・施設から協力をいただき、参加登録者に対し、バス半額割引や協賛店舗・施設の特典サービスを受けることができる「山口市ノーマイカーデバス半額カード」を配布し、路線バスの利用促進を図る。

※令和7年度に名称をバス半額カードへ変更

3 参加事業所数

市内事業者17社

【参加事業所】（公表不可の事業所は除く）

公益財団法人山口県バス協会、萩山口信用金庫、中国運輸局山口運輸支局、山口商工会議所、山口南警察署、公益財団法人山口県予防保険協会、株式会社 片岡計測器サービス、中国電力株式会社山口支社、山口市菜香亭、西京銀行山口県庁支店、独立行政法人自動車事故対策機構 山口支所、山口県厚生農業協同組合連合会、中国財務局山口財務事務所、山口県市町村職員共済組合、山口朝日放送株式会社、山口市役所

4 個人申込み参加人数

70人（令和7年5月12日現在）

5 実績確認・結果報告について

- ◆ 報告日（年4回：4月、7月、10月、1月）の翌月10日までに
- ◆ バス半額カード利用人数調査（年4回：4月、7月、10月、1月）

※今年度から代表者とりまとめを廃止し、各個人からの回答とする。

6 実績(令和6年4月～令和7年3月)

◆ノーマイカーデー実績

	ノーマイカーデー実施者数(A)	公共交通利用者数(B)	公共交通利用者割合(B/A)	実施率
4月	750人	133人	18%	21%
7月	678人	104人	15%	19%
10月	763人	124人	16%	21%
1月	677人	102人	15%	18%

※実施率 = 実施者数 / (従業員数-休暇人数)

◆令和6年度つなぐカード利用人数

実施日	利用人数(人)
令和6年4月28日	90
令和6年7月28日	72
令和6年10月27日	64
令和7年1月26日	56
合計	282

■令和6年度「エコ通勤」の状況

	取組予定者(A)	達成者数(B)	達成率(B/A)
4月	2,498人	649人	26.0%
7月	2,430人	654人	26.9%
10月	2,382人	623人	26.2%
1月	2,231人	610人	27.3%
		平均	26.6%

7 今後の取組について

- ◆参加事業所・団体の拡大及び取組の定着に向けた広報を検討する。
- ◆実施率向上のため、毎月のノーマイカーデー直前で呼びかけを実施する。
- ◆デジタル版「山口市ノーマイカーデーバス半額カード」の周知を図る。

令和7年度 山口市ノーマイカーデー

何を意識すれば
よい!?

NEW!

ノーマイカーデー

エコ通勤

ノーマイカーデー



ノーマイカーデー「プラス」

市職員が率先して、**月1回以上**は
市内公共交通を利用しましょう!



ノーマイカーデー 令和6年度と同じ!

毎月月末金曜日に実施!

・バス半額サービス(現金払い)及び協賛店舗・施設
の特典サービスが使えます!



何が変わった!?

【これまで】

- ・「つなぐカード」のデジタル版を推奨
 - ・紙カードは希望者のみ配付
 - ・ノーマイカーデー実績報告年4回
(4月, 7月, 10月, 1月)
- ⇒各課LoGoフォームで報告

変更点

【今年度から】より多くの市職員の皆さんに公共交通を利用いただくために

- ・名称を「バス半額カード」とし、紙カードを全職員へ配付します。
- ・実績報告年4回(4月, 7月, 10月, 1月)は変更ありません。
- ・報告様式を簡素化します。

⇒ノーマイカーデーにこだわらず**月1回以上市内公共交通**を利用されたかを
調査します。



ノーマイカーデー「プラス」NEW

公共交通利用をプラス!

ノーマイカーデー
以外の日に!

・毎月月末金曜日にこだわらなくて結構です。月1回以上を目標に公共交通を
利用しましょう!

※ただし、「ノーマイカーデー」当日以外は、「バス半額カード」によるバス半額
サービス及び協賛店舗・施設の特典サービスは利用できませんのでご注意ください。
(公共交通にICOCAやSuicaなどの交通系ICカードをご利用ください。)

パーク・アンド・ライド、サイクル・アンド・ライド事業について (案)

(予算額 201 千円)

1 目的と概要

バス停・駅から離れた場所にお住まいで、公共交通機関が利用しづらい方が、クルマや自転車と公共交通機関を上手に組み合わせて利用できるよう、パーク・アンド・ライド駐車場を検討するとともにサイクル・アンド・ライド駐輪場を確保する。

パーク・アンド・ライド … 自宅からクルマで、バス停・駅の近隣に整備された乗り換え用駐車場まで行き、公共交通機関に乗り換えて目的地まで行く方法

サイクル・アンド・ライド … 自宅から自転車で、バス停・駅の近隣に整備された乗り換え用駐輪場まで行き、公共交通機関に乗り換えて目的地まで行く方法

※中山間地域等で慣れた地域内はマイカー移動が可能な高齢者を主な対象として、地域外に移動する際に公共交通機関に乗り換えるもの

2 実施場所

●パーク・アンド・ライド駐車場 6 か所

防長交通堀駐在(徳地地域)、山口南総合センター(名田島地域)

鑄銭司地域交流センター(鑄銭司地域)、やまぐちサッカー交流広場第2駐車場(徳地地域)、JA 小鯖支所駐車場(小鯖地域)、JA 阿東支所駐車場(阿東地域)

●サイクル・アンド・ライド駐輪場 20 か所

	地域	実施場所	最寄りのバス停
1	仁保	スーパーまるしょう仁保店	道の駅仁保の郷
2	宮野	防長交通株式会社山口営業所	宮野車庫
3	大内	アルク大内店	光円寺前、アルク大内店
4	大内	大内地域交流センター	大内地域交流センター前
5	大内	ゆめタウン山口	ゆめタウン山口
6	白石	一の坂川交通交流広場	西京橋
7	白石	山口市民会館	市民会館前
8	白石	山口情報芸術センター	情報芸術センター前
9	白石	アルク山口店	商工会館前
10	湯田	コープいずみ店	稲葉団地入口、泉町
11	湯田	ファミリーマート山口泉都町店	NTT 山口前
12	吉敷	吉敷地域交流センター	吉敷

	地域	実施場所	最寄りのバス停
13	大歳	維新百年記念公園第11駐車場	山口総合支援学校入口
14	平川	アルク平川店	台
15	平川	平川地域交流センター第2駐車場	平川小学校前
16	平川	JAふれあい平川支所	大塚
17	小郡	上郷駅前駐輪場	上郷駅前
18	小郡	小郡総合支所	下山手
19	秋穂	西中国信用金庫秋穂支店	下村
20	阿知須	サンパークあじす店舗西側駐輪場	サンパークあじす

3 今年度の事業実施方針について

●パーク・アンド・ライド駐車場(置くとバス駐車場)

パーク・アンド・ライド駐車場については、中山間地域において、地域外にマイカーで出掛けることに不安がある方などに有効な場所への設置を検討する。

●サイクル・アンド・ライド駐輪場

新たなサイクル・アンド・ライド駐輪場の設置を検討する。

●パーク・サイクル・アンド・ライドの利用ニーズの把握

パーク・アンド・ライド、サイクル・アンド・ライドの利用ニーズを総合時刻表の意見・要望等を活用し、把握に努める。

●広報・周知

山口市交通政策課の Instagram(インスタグラム)ページの活用や地域広報紙等との連携を図るほか、効果的な広報について検討する。

【参考】置くとバス駐車場

防長交通堀駐在內



山口南総合センター



鑄銭司地域交流センター



やまぐちサッカー交流広場第2駐車場



運転士確保について（案）

（予算額 474 千円）

1 実施概要

深刻な運転士不足が課題となる中、公共交通の運転に関心を持ち、就業へのきっかけづくりとするため、バスの運転操作体験会、タクシー車両見学及び就業相談会を開催する。

集客力の向上に向けて、令和6年度と同様、山口県央連携都市圏域の7市町（山口市、宇部市、萩市、防府市、美祢市、山陽小野田市、島根県津和野町）で連携し、他市町交通事業者の参画も促しながら運転士確保を図る。

2 開催時期・場所 山口市、宇部市の2会場で実施

- ・10月19日（日）宇部中央自動車学校（宇部会場）
- ・11月23日（日）山口県湯田自動車学校（山口会場）

3 今年度の予定、取組について

運転士不足解消の第一歩として、公共交通の担い手という立場に関心を持ってもらい、今後の就業に繋がるよう、企画段階からバス事業者やタクシー事業者、運輸支局、県等と協力の上実施する。また、開催後は今回の取組の効果を検証し、今後の取組についても関係者と一体となって検討していく。

↓（参考）昨年度ポスター

↓当日の様子

あなたの運転で、地域と笑顔をつないでみませんか？

令和6年度 バス・タクシー
運転士体験会&就業説明フェア

運転士求む!!! 女性の方も大歓迎です! 現在活躍中の女性運転士

宇部会場
日時 令和6年 10月20日(日)
10:00~16:00 ※雨天決行
会場 宇部中央自動車学校
宇部市西琴見一丁目8-31

山口会場
日時 令和6年 11月17日(日)
10:00~16:00 ※雨天決行
会場 山口県湯田自動車学校
山口市第二丁目4-55

ぜひ公共交通を利用して会場へお越しください

開催内容
●バス・タクシー就業説明フェア
●タクシー運転体験・車両操作見学会
●要申込 バス運転体験 (要予約)

対象 高校生以上・60歳未満の方で、バス運転士の仕事に興味があり、就業を考えておられる方

申込 要申込 全日程10月19日(土)まで
申込先 宇部市役所 生涯学習課 生涯学習課 生涯学習課
〒755-8501 宇部市西琴見一丁目8-31 電話 0836-22-1111 FAX 0836-22-1112

申込先 山口県庁 生涯学習課 生涯学習課 生涯学習課
〒753-8501 山口市第二丁目4-55 電話 0836-22-1111 FAX 0836-22-1112

申込先 山口県庁 生涯学習課 生涯学習課 生涯学習課
〒753-8501 山口市第二丁目4-55 電話 0836-22-1111 FAX 0836-22-1112



公共交通教室について（案）

（予算額 50 千円）

1 実施概要

路線バスの基本的な乗り方・降り方などを実際に体験することで、バスに対する興味や親しみをもち、身近な存在として感じるとともに、クイズや説明を通して、楽しく社会に対するマナーや交通安全などの理解を深めるために実施する。また、実際に車椅子を使ったバスの乗降体験を通じて、「心のバリアフリー」について学習してもらい、誰でも同じように暮らせる「バリアフリー」な社会について知識を深めてもらうことを目的とする。

2 募集の周知

- ・市報、市ウェブサイトでの周知
- ・市地域交流センターにチラシ・ポスターの設置・掲示依頼
- ・市内小学校に案内文書送付

3 授業内容

- ・マナークイズ
- ・事業者によるバスの説明
- ・車椅子でのバスの乗降体験
- ・現金や交通系 IC カード(模擬)等を使っての路線バス乗車体験
- ・路上模擬運行 等

↓バス教室開催風景



クルマと公共交通の上手な使い方を考える

プロジェクトについて（案）

（予算額 1,010千円）

市民向け

1 実施概要

過度なクルマ利用からクルマと公共交通の上手な使い分けを促す、コミュニケーションを中心とした取組を行う。

安心して住み続けられる地域づくりに向けて、アンケート調査や公共交通に関する情報の提供などを通じて、一人ひとりに上手な交通手段を考えていただく取組を、平成21年度から毎年実施している。

2 令和元年度以降の取組

年度/対象	結果
R1 市内高等学校生徒	山口市内の高等学校に通う生徒を対象に、山口市内路線バス利用モニターの募集を行い、30名の応募、29名の実施があった。事後アンケートでは、今後もバスを利用したいと答えた生徒が約半数を占め、またバスロケーションシステムを知らなかった生徒にも、今回のモニターを通じ、周知・利用を促すことができた。
R2 山口大学学生	山口大学の学生を対象に、山口市内路線バス利用モニターの募集を行い、20名の応募・実施があり、普段公共交通機関に乗ることが少ない学生に対し、利用機会の創出、バスや鉄道の利用促進やシェアサイクルの周知に繋がった。
R3 市内大学生	市内の大学生を対象に、市内路線バスで使用可能な期間限定フリーパスの交付とシェアサイクル無料(3h/回まで)アカウントを付与する形で募集したところ9名の応募があり、バスを利用するきっかけの創出につながった。
R4 市内大学生	市内の大学生を対象に、市内路線バスで使用可能な期間限定フリーパスの交付とシェアサイクル無料(3h/回まで)アカウントを付与する形で募集したところ33名の応募があり、バスを利用するきっかけの創出につながった。
R5 子育て世代	子育て世代の方にとっても利用しやすい公共交通を検討するにあたり、子育て世代の方の日常利用や公共交通の利用意向などについて意見を伺い、今後の制度改善に向けたアンケートを2回実施。1回目の公共交通ふれあいフェスタでは、198人の回答を得ることができ、次に2月7日～29日、市内の子育て支援施設では、36人の意見を得た。アンケートは、web 回答となっており、チラシには、子どもが公共交

	通を使うことによるメリットを記載することで利用促進の啓発を行った。
R6 子育て世代	令和5年度に子育て世代を対象に実施した「子育てと公共交通に関するアンケート」の結果を踏まえながら、公共交通の路線図や子育て世代に向けたお役立ち情報などをまとめた「おでかけマップ」の作成に向け、交通系 IC カードを使ったモニター調査や子育て世代の方が参画するワークショップを2回開催した。 モニターアンケートやワークショップで出た意見を参考に、「親子でおでかけマップ」を作成した。
R6 山口商工会議所会員事業所	山口商工会議所会員事業所の経営者および従業員 113 名を対象に、交通ICカードの普及、通勤及びプライベートにおける公共交通の利用意識の創出を図るため、セミナーの実施およびモニター調査を実施した。

3 今年度の予定、取組について

令和6年度に作成した「親子でおでかけマップ」を活用して、小学3年生以下のお子さんをお持ちの家族連れを主な対象に、5月1日から11月30日までの間、「親子でバスに乗ってバス博士になろう！まちなかクイズラリー」を実施する。さらに、今年度夏以降に、同マップを使ったイベント(レクリエーション、モニターツアー等)を実施する予定としており、これらの取組を通じて、実際に公共交通を利用してもらうきっかけをつくる。

また、今年度も山口商工会議所と連携した取組として、事業所の経営者等が率先して公共交通の利用に努め、従業員、顧客が通勤や買い物で公共交通を利用の創出を図るため、ICOCAカード利用及び「やまぐちTAXIアプリ」のモニター調査を実施する。

市職員向け 【市職員労働組合予算で実施】

1 実施概要

公共交通の利用促進と働きやすい環境づくりに向けて、公共交通を活用した多様な通勤方法や、時差出勤制度を含めた働き方が選択できるような検証を行うため、市職員を対象とした交通系ICカードモニター調査を市職員労働組合と連携して実施する。

2 内容

- ・対象者:山口市職員労働組合組合員及び準組合員 30名
- ・調査期間:令和7年4月15日～5月15日

- ・3,000円をチャージした「ICOCA」を使って、実際に公共交通で通勤してもらう（4月と5月に、各月5日程度）。
- ・モニター調査期間後にアンケート調査を実施。

3 今後の取組について

- ・モニター期間終了後アンケートの集計を行い、結果については市職員にフィードバックすると共に、今後の交通施策や時差出勤制度の推進のために活用する。

山口市民公共交通週間について（案）

（予算額 370 千円）

1 目 的：

公共交通の必要性や、過度なマイカー利用がもたらす環境負荷、交通渋滞等の社会的弊害を市民の皆様に情報提供し、体験することを通じて、積極的に公共交通を利用する意識を喚起・醸成する。

2 事業概要(予定)

(1)啓発イベント

- ①オーガニック&ナチュラルライフガーデンフェア(市農業振興課主催イベント)へのブース出展

◆実 施 日:11 月2日(日)

◆開催場所:中央公園

- ②バス事業者バックヤードツアーの新規開催

◆実 施 日:未定

◆開催場所:防長交通山口営業所(予定)

(2)市内一斉ノーマイカーデー

◆実 施 日:10月27日(月)～11月2日(日)

啓発イベントを含めた1週間を「市民公共交通週間」とし、週間内の1日(金曜日)を「市内一斉ノーマイカーデー」として実施する。

〈市内一斉ノーマイカーデー実績(直近 5 か年分)〉

※R2・3年度は新型コロナウイルス感染症により未実施

年度	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6
参加事業者数	35	21	-	-	27	23	29
参加人数	722	1,283	-	-	942	753	880

3 今年度の予定、取組について

全市的な取組となるよう市民・事業所に対して広く周知を行う。

① 市報によるバス半額券の配布

② 路線バス・コミュニティバス等を利用した周知(車外掲示)

③ 市報、地域情報誌、テレビ、ラジオ、ソーシャルメディア等を通じた広報

令和7年度第1回 山口市公共交通委員会

報告

報告(1)	第二次山口市市民交通計画の進捗状況について	・・・	1
報告(2)	コミュニティバス実証運行事業について	・・・	4
報告(3)	コミュニティタクシー運行促進事業について	・・・	5
報告(4)	徳地生活バスA I デマンド交通 (藤木エリアの組み入れ等) について	・・・	9
報告(5)	グループタクシー利用促進事業について	・・・	11
報告(6)	シェアサイクル実証事業について	・・・	15
報告(7)	バス・タクシー運転士就職奨励金制度について	・・・	17

第二次山口市市民交通計画の進捗状況について

- 1 第二次山口市市民交通計画に位置付けた成果指標について
成果指標の進捗状況は次のとおりとなっている。

目標1 マイカーに頼り過ぎない交通まちづくりの推進

成果指標	基準値	中間目標値 (令和4年度)	目標値 (令和9年度)
月に1回以上公共交通機関 を利用する市民の割合	19.7% (H29年度実績)	25.0%	25.0%

【進捗状況】

成果指標	令和5年度	令和6年度	前年度比較
月に1回以上公共交通機関 を利用する市民の割合	16.3%	16.8%	0.5 ポイント増

目標2 利用しやすい公共交通環境の整備

成果指標	基準値	中間目標値 (令和4年度)	目標値 (令和9年度)
公共交通機関の利便性に 満足している市民の割合	50.4% (H29年度実績)	54.3%	57.5%
鉄道利用者数	540万人/年 (H27年度実績)	540万人/年	541万人/年
路線バス利用者数	234万人/年 (H28年度実績)	239万人/年	245万人/年

【進捗状況】

成果指標	令和5年度	令和6年度	前年度比較
公共交通機関の利便性に 満足している市民の割合	51.6%	50.2%	1.4ポイント減
鉄道利用者数	460万人/年 (R4年度実績)	502万人/年 (R5年度実績)	42万人増
路線バス利用者数	220万人/年	219万人/年	1万人減

目標3 日常生活を支える持続可能な生活交通の確保

成果指標	基準値	中間目標値 (令和4年度)	目標値 (令和9年度)
移動手段が確保されている と思う市民の割合	89.4% (H29 年度実績)	95.0%	100.0%
コミュニティタクシー運行地 域数	7地域 (H28年度実績)	9地域	11地域
グループタクシー申請者数	996人/年 (H28年度実績)	1,300人/年	1,500人/年

【進捗状況】

成果指標	令和5年度	令和6年度	前年度比較
移動手段が確保されている と思う市民の割合	86.9%	86.8%	0.1ポイント減
コミュニティタクシー運行地 域数	8地域	8地域	増減なし
グループタクシー申請者数	1,142人/年	1,135人/年	7人減

目標4 豊かな暮らしと交流のまちづくりに寄与する公共交通網の構築

成果指標	基準値	中間目標値 (令和4年度)	目標値 (令和9年度)
基幹ネットワーク沿線居住 エリア※の人口密度	37.3人/ha (H27年度実績)	38.1人/ha	38.6人/ha

※基幹ネットワーク沿線居住エリア・・・「山口市コンパクト・プラス・ネットワークのまちづくり計画～山口市版立地適正化計画～」に定める都市的な居住環境が整っている「都市的居住環境エリア」の中でも、基幹ネットワークの利用しやすい視点から設定基準を定めた法定区域。

【進捗状況】

成果指標	令和4年度
基幹ネットワーク沿線居住 エリアの人口密度	36.6人/ha

※国勢調査ごとに実施される「都市計画基礎調査」に基づく指標であるため、実績値の集計は、令和7年国勢調査を踏まえた令和10年度(令和9年度実績)となる。

2 地域公共交通確保維持事業に関連した成果指標について

令和2年11月施行の地域交通法の改正法により、地域公共交通計画と乗合バス等の補助制度の連動化を図るため、次の3項目について指標を設定した。その進捗状況は次のとおりとなっている。

成果指標	基準値	中間目標値 (令和4年度)	目標値 (令和9年度)
路線バス利用者数 【再掲】	234万人/年 (H28年度実績)	239万人/年	245万人/年
市内の乗合バス ^(※1) 事業の経常収支率	51.1% (R5年度実績)	—	55.0%
公共交通を維持するための行政負担額 ^(※2)	219,541 千円 (R5年度実績)	—	現状維持

※1 市内を運行する路線バス(3事業者)の全路線

※2 幹線バス確保維持事業費補助金額等

【進捗状況】

成果指標	令和5年度	令和6年度	前年度比較
路線バス利用者数【再掲】	220万人/年	219万人/年	1万人減
市内の乗合バス事業の経常収支率	51.1%	47.9%	3.2ポイント減
公共交通を維持するための行政負担額	219,541千円	251,251千円	31,710 千円増

山口市コミュニティバス実証運行の状況

1. 運行状況

1)運行日数																									(日)	
年度	ルート名	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合 計
	吉敷・湯田	182	365	366	365	365	365	366	365	365	365	366	365	365	365	366	365	365	365	365	364	365	364	366	365	8,580
	大 内	164	365	366	365	365	365	366	365	365	365	366	365	365	365	366	365	365	365	365	364	365	364	366	365	8,562
	川 西	152	365	366	365	365	365	366	183	H20.10廃止																2,527

2)運行便数																									(便)	
ルート名	年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合 計
吉敷・湯田		4,354	9,512	9,307	9,195	9,238	9,246	9,269	9,243	8,867	8,759	8,779	8,751	8,762	8,762	8,790	8,765	8,759	8,762	8,744	8,759	8,756	8,729	8,780	8,759	209,647
大 内		3,605	8,789	9,329	9,323	9,368	9,130	9,128	8,271	8,258	8,273	8,266	8,273	8,274	8,274	8,298	8,275	8,272	8,274	8,267	8,273	8,272	8,245	8,295	8,272	199,304
川 西		3,648	7,497	5,735	5,694	5,713	5,719	5,720	2,870	H20.10廃止																42,596
合 計		11,607	25,798	24,371	24,212	24,319	24,095	24,117	20,384	17,125	17,032	17,045	17,024	17,036	17,036	17,088	17,040	17,031	17,036	17,011	17,032	17,028	16,974	17,075	17,031	451,547

(3)実車走行キロ																									(km)	
ルート名	年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合 計
吉敷・湯田		58,786	139,890	138,289	136,685	137,403	137,371	137,721	137,351	131,795	130,221	130,545	128,273	130,254	130,209	130,449	130,120	130,087	130,133	129,955	129,687	130,054	129,611	130,433	130,165	3,105,486
大 内		56,154	130,120	134,358	133,953	134,431	134,014	134,702	129,381	129,135	129,400	129,742	127,363	129,415	129,381	129,577	129,378	129,051	129,380	129,323	129,022	129,367	128,925	129,745	129,430	3,054,748
川 西		62,016	152,004	157,115	156,208	156,756	156,659	157,165	78,664	H20.10廃止																1,076,588
合 計		176,956	422,014	429,762	426,846	428,590	428,044	429,588	345,397	260,930	259,621	260,287	255,636	259,669	259,590	260,025	259,498	259,138	259,513	259,278	258,709	259,421	258,537	260,178	259,595	7,236,821

2. 利用状況

(1)年間乗車人員																									(人)	
ルート名	年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合 計
吉敷・湯田		35,917	109,019	127,486	105,507	87,543	86,666	86,597	87,429	92,020	92,355	88,493	74,271	69,587	66,363	67,170	68,711	70,047	74,065	76,488	61,819	60,399	58,911	62,313	61,006	1,870,182
大 内		30,746	90,495	105,627	94,422	80,482	81,248	80,028	84,056	81,567	78,685	77,988	72,072	71,139	67,974	67,182	68,316	69,186	64,149	66,704	50,066	49,873	56,764	56,180	57,645	1,702,594
川 西		9,567	38,800	64,577	54,754	51,947	53,158	51,561	24,287	H20.10廃止																348,651
合 計		76,230	238,314	297,690	254,683	219,972	221,072	218,186	195,772	173,587	171,040	166,481	146,343	140,726	134,337	134,352	137,027	139,233	138,214	143,192	111,885	110,272	115,675	118,493	118,651	3,921,427

(2)1日平均乗車人員																									(人)
年度 ルート名	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	平 均
吉敷・湯田	197	299	348	289	240	237	237	240	252	253	242	203	191	182	184	188	192	203	210	169	165	162	170	158	218
大 内	187	248	289	259	220	223	219	230	223	216	213	197	195	186	184	187	190	176	183	137	137	156	153	158	199
川 西	63	106	176	150	142	146	141	133	H20.10廃止																138

(3)1便平均乗車人員																									(人)	
ルート名	年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	平 均
吉敷・湯田		8.2	11.5	13.7	11.5	9.5	9.4	9.3	9.5	10.4	10.5	10.1	8.5	7.9	7.6	7.6	7.8	8.0	8.5	8.7	7.1	6.9	6.7	7.1	6.6	8.9
大 内		8.5	10.3	11.3	10.1	8.6	8.9	8.8	10.2	9.9	9.5	9.4	8.7	8.6	8.2	8.1	8.3	8.4	7.8	8.1	6.1	6.0	6.9	6.8	7.0	8.5
川 西		2.6	5.2	11.3	9.6	9.1	9.3	9.0	8.5	H20.10廃止																8.2
合 計		6.6	9.2	12.2	10.5	9.0	9.2	9.0	9.6	10.1	10.0	9.8	8.6	8.3	7.9	7.9	8.0	8.2	8.1	8.4	6.6	6.5	6.8	6.9	7.0	8.7

3. 運賃収入(税込・乗車人数からの按分による)

乗車収入(税込・乗車人数から按分による)		(円)																								
ルート名	年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合 計
吉敷・湯田		3,452,489	10,614,480	12,428,614	12,766,971	11,827,261	11,579,347	10,994,809	11,136,647	11,426,532	11,175,166	10,526,775	9,350,812	8,532,766	8,258,908	8,906,386	8,598,986	9,016,792	9,390,146	9,392,887	7,026,302	6,885,561	6,977,315	7,523,730	7,722,698	225,512,379
大 内		1,955,432	8,810,909	10,297,400	11,498,413	10,873,549	10,851,818	10,150,410	10,705,474	10,128,865	9,525,380	9,277,861	9,074,451	8,728,485	8,467,576	8,912,316	8,545,659	8,909,207	8,126,681	8,185,231	5,691,980	5,679,072	6,724,429	6,788,243	7,296,308	205,205,150
川 西		962,148	3,922,614	6,573,639	6,876,846	6,757,996	6,467,294	6,170,083	2,641,214	H20.10廃止																40,371,834
合 計		6,370,069	23,348,003	29,299,653	31,142,230	29,458,806	28,898,459	27,315,302	24,483,335	21,555,397	20,700,546	19,804,636	18,425,263	17,261,251	16,726,484	17,818,702	17,144,645	17,925,999	17,516,827	17,578,118	12,718,282	12,564,633	13,701,744	14,311,973	15,019,006	471,089,363

4. 運行経費

	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合 計
経費	37,639,331	84,087,426	84,000,000	85,982,365	84,785,552	86,907,482	87,348,799	69,880,655	62,466,321	60,802,964	58,671,848	59,134,553	58,768,883	55,522,580	54,464,242	57,863,114	72,474,983	74,514,722	79,448,049	76,046,257	77,258,763	73,543,352	78,917,583	83,868,357	1,704,398,181
収支率	16.9%	27.8%	34.9%	36.2%	34.7%	33.3%	31.3%	35.0%	34.5%	34.0%	33.8%	31.2%	29.4%	30.1%	32.7%	29.6%	24.7%	23.5%	22.1%	16.7%	16.3%	18.6%	18.1%	17.9%	27.6%

5. 国庫補助金

	平成13年度	平成14年度	平成15年度	※平成16年度以降なし
補助額(事業者への補助)	14,592,804	31,552,821	16,088,160	

6. 備考

【運行開始】吉敷・湯田ルート(平成13年10月1日)、大内ルート(平成13年10月19日)、川西ルート(平成13年10月31日)
【運行見直し】
平成14年5月18日(大内:ルート変更、バス停増設、ダイヤ変更、吉敷・湯田:ルート変更、バス停増設・移設、ダイヤ変更、川西:ダイヤ変更)
平成14年11月1日(大内:減便、ダイヤ変更、吉敷・湯田:減便、ダイヤ変更、川西:ルート・ダイヤ変更、バス停増設)
平成15年5月1日(大内:増便、ダイヤ変更、吉敷・湯田:減便、ダイヤ変更)
平成16年10月1日:運賃改定(100円⇒200円)
平成17年4月1日:学生定期券、乗継乗車券導入
平成18年4月1日:大内:減便、年末年始運行日程変更
平成20年4月1日:大内:減便、ルート変更
平成20年10月1日:川西:廃止
平成21年4月1日:大内:ダイヤ変更、吉敷・湯田:減便、ダイヤ変更
平成22年4月1日:全ルート:ダイヤ変更

コミュニティタクシー運行促進事業について【令和6年度】

地 域	小 鯖	宮 野	嘉 川	小 郡	佐 山	阿知須	藤 木	吉 敷
事業主体	小鯖コミュニティタクシー推進協議会	宮野地区コミタク運行協議会	嘉川コミュニティタクシー推進協議会	サルビア号を育てる会	佐山地区自治連合会	阿知須コミュニティ交通協議会	藤木おたっしや号運営協議会	吉敷地域コミュニティタクシー運行協議会
主な構成	上小鯖を中心とする8自治会	宮野地区3町内会（熊坂町内会、24.10～上恋路、中恋路町内会参加）	沿線自治会	高台の8自治会（光ヶ丘中・東・南、金堀、平原、円座東、長谷西、（22.10～尾崎自治会参加）	自治連合会	引野ほか9自治会	島地～上藤木7自治会	赤田、佐畑、中村、木崎、上東地区
運行会社	山口交通	湯田都タクシー	嘉川タクシー	いさむや第一交通 湯田都タクシー	嘉川タクシー	北東部循環線 中央交通 南部東西往復線 宇部相互タクシー	島地タクシー	大隅タクシー 湯田都タクシー
運行開始日	平成20年2月25日	平成20年2月1日 （平成24年10月1日～再度実証運行）	平成20年1月28日	平成19年12月25日	平成20年10月1日	平成20年10月1日	平成22年4月1日	令和3年5月6日
運行区間	地区中心部 ～上小鯖	地区中心部 ～熊坂 上恋路、中恋路	免地～相原	地区中心部 ～高台8地区	佐山中心部 ～新地 ～由良・佐山西	阿知須中心部 ～岩倉等 ～青畑	島地中心部 ～上藤木 ～小河内	旧出張所・公民館跡地 ～（佐畑・木崎及び赤田・上東・中村）～ JAぶちええ菜
運行形態	定時定路線	定時定路線	定時定路線	定時定路線	定時定路線	定時定路線 （一部区間デマンド運行）	区域運行 （デマンド運行）	定時定路線
フリー乗降	○	○	○	○	○	○	○	○
ダイヤ	週3日運行 （月・水・金）	週3日運行 （月・水・金）	週3日運行 （月・水・金）	週6日運行 （月～土）	週3日運行 （月・水・金）	北東部循環線 月～金 南部東西往復線 月～金	週6日運行 （月～土）	週4日運行 （月・火・木・金）
運行便数	1日2便 月曜：1日1便	1日3往復	1日4往復	1日4往復	新地線1往復 由良線1日7便	北東部循環線 1日6便 南部東西往復線 1日3.5往復	1日最大6便	佐畑・木崎ルート 3便 赤田・上東・中村ルート 3便
運行距離 （1便当り）	13.2km	7.0km 7.8km 8.2km 8.8km	9.4kmまたは10.0km	往路 11.4km 復路 11.5km	新地線5.6km 由良線11.4km	北東部循環線14.0km 南部東西往復線16.7km	区域運行	佐畑・木崎ルート 16.4km 赤田・上東・中村ルート 18.0km
基本運賃	300円	300円	300円	200円	350円	350円	300円	300円
福祉優待バス	適用	適用	適用	適用	適用	適用	適用	適用

コミュニティタクシー運行促進事業について【令和6年度】

地 域	小 鯖	宮 野	嘉 川	小 郡	佐 山	阿知須	藤 木	吉 敷
平均乗車率	48. 9%	76. 6%	36. 2%	69. 0%	39. 5%	45. 0%	34. 6%	52. 8%
基準達成状況	+18. 9%	+46. 6%	+6. 2%	+39. 0%	+9. 5%	+15. 0%	+4. 6%	+22. 8%
年間利用者数	618人	2, 649人	1, 731人	16, 111人	2, 191人	6, 022人	1, 702人	3, 656人
年間利用者数 前年度実績 (R5)	695人	2, 225人	1, 846人	15, 522人	2, 124人	6, 171人	1, 673人	2, 911人
年間利用者数 前年度比 (R6-R5)	-77人	+424人	-115人	+589人	+67人	-149人	+29人	+745人
利用者数 (1月あたり)	52人	221人	144人	1, 343人	183人	502人	142人	305人
利用者数前年度実績 (1月あたり)	58人	185人	154人	1, 294人	177人	514人	139人	243人
利用者数前年度比 (1月あたり)	-6人	+36人	-10人	+49人	+6人	-12人	+3人	+62人
使用車両	小型タクシー (定員4人)	ジャンボタクシー (定員9人)	小型タクシー (定員4人)	ジャンボタクシー (定員9人)	小型タクシー (定員4人)	小型タクシー (定員4人)	ジャンボタクシー (定員9人)	ジャンボタクシー (定員9人)
運行経費								
年間経費 (①+②-③)	1, 532, 380円	3, 843, 652円	4, 325, 188円	15, 033, 054円	4, 523, 535円	12, 273, 279円	2, 434, 000円	7, 936, 143円
①運行委託費	1, 442, 560円	4, 013, 050円	4, 062, 680円	16, 406, 035円	4, 539, 220円	12, 473, 320円	3, 006, 700円	7, 735, 680円
②事務の経費等	148, 520円	82, 902円	397, 208円	171, 719円	179, 365円	318, 709円	0円	545, 963円
③回数券・乗車券売上	58, 700円	252, 300円	134, 700円	1, 544, 700円	195, 050円	518, 750円	572, 700円	345, 500円
補助金	1, 481, 961円	3, 842, 751円	3, 989, 086円	14, 786, 398円	4, 199, 273円	11, 400, 712円	2, 432, 791円	7, 514, 763円
うち欠損額補助	127, 335円	0円	143, 970円	0円	0円	292, 029円	0円	432, 624円
協賛金・広告収入	50, 000円	0円	335, 000円	244, 000円	323, 250円	870, 000円	0円	420, 000円
利息	419円	901円	1, 102円	2, 656円	1, 012円	2, 567円	1, 209円	1, 380円

コミュニティタクシー運行促進事業について【令和6年度】

地 域	小 鯖	宮 野	嘉 川	小 郡	佐 山	阿知須	藤 木	吉 敷
令和6年度の取組内容								
運行計画の変更						<u>11月</u> 運行事業者の変更 ・北東部循環線 中央交通→宇部相互タクシー		<u>11月</u> 運行ルートの変更 新しい停留所の設置 （祐寿会本部つなぐ、えさき内科クリニック、伊梶団地前）
利用促進活動	コミタク運行車両をそのまま一般タクシーとして貸し切り、ザ・ピックアップを結ぶ「買い物便」の運行を、週1回1往復実施 <u>2月</u> マグネット仕様小鯖コミタクシート作成	<u>3月</u> コミタクの標識について詳細な説明を記載したチラシを宮野地域全戸配布	<u>8月</u> コミタクを利用した買い物の楽しみ方を記載した「コミタクかわら版」発行 <u>10月</u> 利用状況等を記載した「コミタク通信」発行 <u>3月</u> 時刻表発行	<u>9月</u> パンフレット及び時刻表発行	コミタク運行車両をそのまま一般タクシーとして貸し切り、病院、サンパークあじすを結ぶ「買い物便」の運行を、週3回1往復実施 利用促進記念品の贈呈 <u>10月</u> 時刻表発行 <u>12月</u> 乗車推奨用チラシを発行し各自治会にて回覧 <u>1月</u> 高齢者を対象とした防犯対策講習会にてコミタク時刻表（ポケット版）及び乗車推奨用チラシを配布	<u>通年</u> 利用者増に向けた利用促進（チラシ）の作成 <u>10月</u> 時刻表（10月1日改訂版）発行	<u>4月</u> 時刻表発行 <u>4月～3月</u> （第4金曜日） 島地地域づくり協議会による利用促進キャンペーンの実施 「第4金曜日はロハスへ行こう！！」 <u>3月</u> 島地地域づくり協議会による利用促進キャンペーンの実施 「バスに乗って藤木へ行こう！！！」	<u>10月</u> 「ふるさとだよりよしき」により運行ルートの変更を住民に周知 <u>11月</u> 時刻表の発行

徳地生活バス AI デマンド交通(藤木エリアの組み入れ等)について

1 目的

AI を活用したデマンド型交通を導入することで、車両を効率的に運用し、事業者負担を軽減しながら、利用者の移動利便性を高め、利用者増加をめざす。

2 実証実験について

「定時定路線」での利用が少なかった、八坂地区の羽高線及び船路西線並びに船路東線、串・島地地区の安養地線及び西村線の5路線について、各沿線をエリアとして利用者の予約に応じて運行する「AI デマンド交通」の実証を令和6年10月から開始した。

令和7年度も引き続き実証運行を継続していく中で、「AI デマンド交通」への移行後も、特に串・島地地区での利用が伸び悩んでいる。また、当該エリアに隣接する藤木自治会を中心に地域主体で運行されているコミュニティタクシー「藤木おたっしや号」は、エリア人口と徳地中学校生徒のスクールタクシー利用が大きく減少しており、地域主体での継続が困難な状況となった。

こうしたことから、「藤木おたっしや号」はこの6月末をもって廃止することとし、7月からは、「藤木おたっしや号」の運行エリアを串・島地デマンド便のエリアに組み入れる。(利用者が1名のスクールタクシーは市教育委員会が引き継ぐ。)

3 運行エリア

八坂地区



串・島地地区



4 利用者アプリ予約画面

八坂地区 2. 予約方法

① ログイン

ログインID
メールアドレス
パスワード
パスワード入力
ログイン
パスワードを忘れた方
新規登録してサービスを利用する

新規登録時に設定
ログインID
パスワード入力
「ログイン」を押下

②

左上の予約ボタンを押下

③

各エリアと便を選択

船路西・東線エリア(おでかけ便)
羽高線エリア(おでかけ便)
船路西・東線エリア(おかえり便)
羽高線エリア(おかえり便)

④

予約日
2024年9月19日(木)

運行便
【船路西・東】おでかけ1便(サッカー交流
広場7:40(休番))
【船路西・東】おでかけ2便(サッカー交流
広場8:35(休番))
【船路西・東】おでかけ3便(サッカー交流
広場10:25(休番))
【船路西・東】おでかけ4便(サッカー交流
広場13:10(休番))

行き先選択へ戻る

乗車したい便を選択

⑤

画面に親指・人差し指を置いて
広げるように動かす(右の画像)
地図を詳細に見ることが可能

⑥

2回目以降は予約履歴から
乗降場所の選択も可能

⑦

人数を指定

人数
一般
小学生
未就学児
ご予約いただける人数は、一般、小学生、
未就学児合わせて2名様までです。(福祉機
待バス乗車証・障害者手帳等をお持ちの方
は乗算時に乗算員へのご提示をお願いしま
す。)

乗車人数
一般 1名
備考
予約画面へ
「確認画面へ」を押下

⑧

予約内容が表示される
確認後「予約を確定する」を押下

予約日・便名
予約日 2024年9月18日(木)
運行便 【船路西・東】おでかけ1便(サ
ッカー交流広場7:40(休番))
出発地・到着地
出発地 山口県山口市徳地船路1107
-3
到着地 山口県山口市徳地船路890
乗車人数・備考
乗車人数 一般 1名
備考
予約を確定する

5 利用状況

八坂デマンド便		10月	平均乗車人数	11月	平均乗車人数	12月	平均乗車人数	1月	平均乗車人数	2月	平均乗車人数	3月	平均乗車人数	合計	平均乗車人数
おでかけ便	1便	13	1.2	17	1.7	19	1.4	12	1.3	10	1.1	12	2.4	83	1.4
	2便	12	1.1	12	1.3	13	1.3	12	1.5	11	1.4	13	1.3	73	1.3
	3便	2	2.0	0		1	1.0	3	1.0	2	1.0	0		8	1.1
	4便	0		1	1.0	1	1.0	1	1.0	0		0		3	1.0
おかえり便	1便	20	1.5	12	1.2	19	1.9	13	1.9	12	2.0	13	1.6	89	1.6
	2便	4	1.0	6	1.5	10	1.1	8	1.3	9	1.5	7	1.2	44	1.3
	3便	7	1.2	7	1.0	7	1.4	4	1.0	2	1.0	4	1.3	31	1.1
計		58	1.3	55	1.3	70	1.4	53	1.4	46	1.4	49	1.5	331	1.4

※八坂地区 9 月利用実績：69 人

串・島地デマンド便		10月	平均乗車人数	11月	平均乗車人数	12月	平均乗車人数	1月	平均乗車人数	2月	平均乗車人数	3月	平均乗車人数	合計	平均乗車人数
おでかけ便	1便	7	1.2	4	1.0	7	1.4	3	1.0	2	1.0	4	1.0	27	1.1
	2便	3	1.5	8	1.3	3	1.0	2	0.7	1	1.0	2	1.0	19	1.1
	3便	11	1.4	16	1.8	14	1.8	8	2.0	7	2.3	11	1.8	67	1.8
	4便	4	1.3	1	1.0	0		1	1.0	0		1	1.0	7	1.2
おかえり便	1便	3	1.5	0		0		0		0		0		3	1.5
	2便	10	1.4	10	2.0	13	2.2	5	2.5	7	2.3	9	3.0	54	2.1
	3便	5	1.3	9	1.1	7	1.4	4	1.0	2	1.0	3	1.0	30	1.2
	4便	2	1.0	4	1.0	1	1.0	2	1.0	3	1.5	2	1.0	14	1.1
計		45	1.3	52	1.4	45	1.6	25	1.3	22	1.7	32	1.5	221	1.5

※串・島地地区 9 月利用実績：54 人

グループタクシー利用促進事業について

1 事業内容

公共交通が不便な地域の高齢者に、グループでの共同利用を目指してタクシー利用券を交付し、日常生活の利便性向上と社会活動の拡大を図る。

このたび、高齢者により気軽に公共交通を利用していただくため、また、市議会や市民からの御意見、御要望を踏まえ、令和7年4月1日から交付要件の緩和を行うこととした。

具体的には、これまで75歳以上の方については自宅から最寄りの公共交通機関までの距離が 700m 以上である方を交付要件としていたところを、年齢要件を70歳以上に、距離要件を 500m以上に緩和することとした。

【変更内容】

項目	令和6年度まで	令和7年度から
利用券1枚の金額 (交付枚数 60 枚/年)	公共交通機関からの距離が 1.0km (75歳以上の方は700m) 以上 1.5km未満：300円券 1.5km以上4.0km未満：500円券 4.0km以上：700円券	公共交通機関からの距離が 1.0km (70歳以上の方は500m) 以上 1.5km未満：300円券 1.5km以上4.0km未満：500円券 4.0km以上：700円券

(1) 交付要件

- ・65 歳以上の方
- ・公共交通機関から 1.0km(70歳以上は500m)以上離れている方
※ただし、地理的条件を考慮して市が交通不便と判断した場合は、この限りでない。
- ・福祉タクシー券(障がい者対象)、おでかけサポートタクシー券(要支援・要介護者等対象)の利用者でない方

(2) 申請方法

- ・全ての要件を満たす4人以上のグループで申請
※ただし、止むを得ない事情により、4人に満たない場合には、この限りでない。

(3) 利用方法

- 1 回の乗車につき 1 人 1 枚

(4) 交付内容

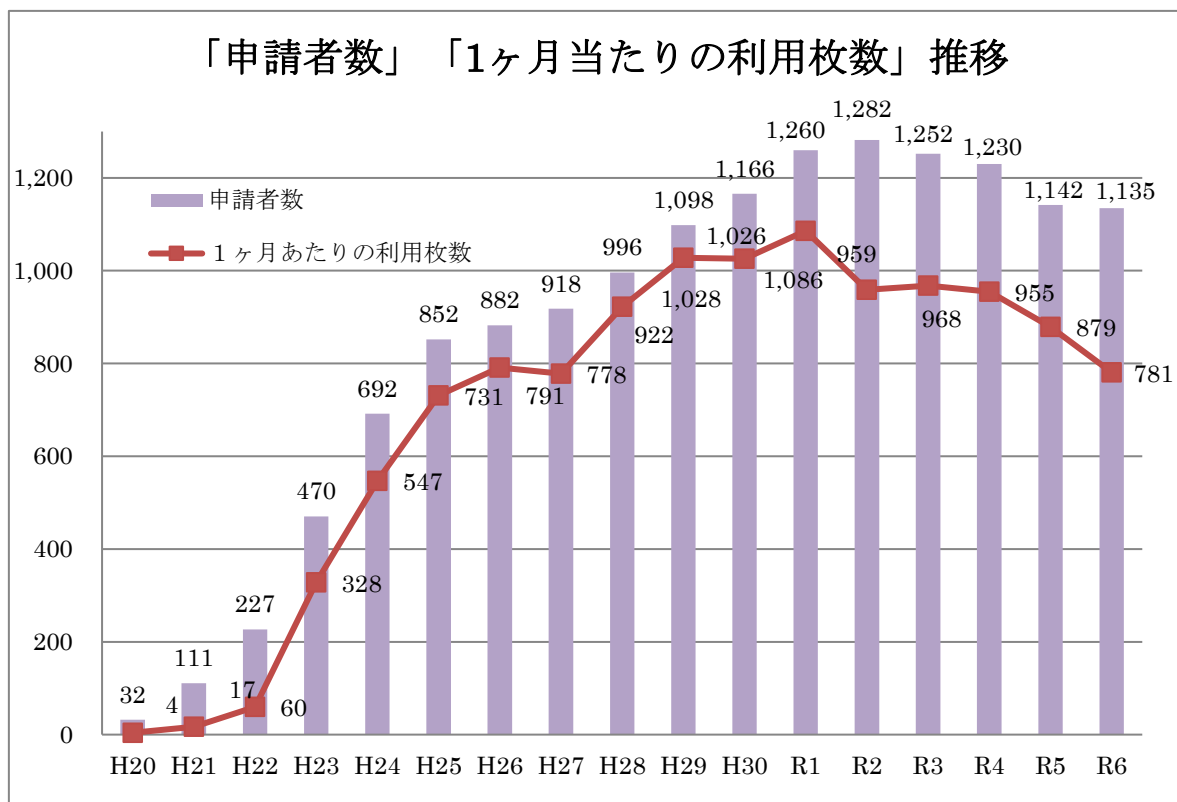
公共交通機関から自宅までの距離が

1.0km(70歳以上は500m)以上 1.5km 未満	:300 円券 60 枚/年
1.5km 以上 4.0km 未満	:500 円券 60 枚/年
4.0km 以上	:700 円券 60 枚/年

2 申請件数・利用者数の推移

年度	申請件数			利用枚数	1ヶ月あたりの利用枚数
	自治会数	グループ数	申請者数		
平成 20 年度	7	7	32	22	4
平成 21 年度	8	6	111	209	17
平成 22 年度	15	15	227	714	60
平成 23 年度	28	29	470	3,938	328
平成 24 年度	51	50	692	6,558	547
平成 25 年度	57	64	852	8,771	731
平成 26 年度	65	69	882	9,489	791
平成 27 年度	74	77	918	9,320	778
平成 28 年度	86	93	996	11,063	922
平成 29 年度	95	98	1,098	12,338	1,028
平成 30 年度	101	104	1,166	12,308	1,026
令和元年度	113	121	1,260	13,036	1,086
令和 2 年度	122	127	1,282	11,504	959
令和 3 年度	118	125	1,252	11,620	968
令和 4 年度	120	129	1,230	11,464	955
令和 5 年度	116	121	1,142	10,543	879
令和 6 年度	117	123	1,135	9,380	781

※平成 20 年度は 10 月～3 月



申 請 自 治 会(117自治会)

◆大殿(天花、上天花、古熊)◆湯田(東朝倉、西朝倉)◆仁保(揚山、金坪、大畠、一ノ瀬、北河内、野上、深野、両浴、岩倉)◆小鯖(7区、15区、16区、17区)◆大内(姫山台、金成団地、茅野神田、殿河内、問田、長野グリーンタウン)◆宮野(住吉、江良、西恋路、上桜畠、七尾台)◆吉敷(中尾東上、中尾東下、中尾西)◆平川(上平井、神郷、岡大塚、岡小路、河内、西京、開作、古曽中原、中村、馬木領、馬木坂本、小出、中野、閏、平井西)◆大歳(岩富、中矢原、矢原住宅、三作、下矢原、下湯田、和田)◆陶(糸根、糸根東、中河原、郷上、潟上、潟上西団地、西陶)◆鑄銭司(畑、西ノ浴、扇田、鷹ノ子、小森、岡、黒山、天神原、河原、南、今宿東、大円、四辻、和西、道ノ上)◆名田島(新開作西、昭和西、昭和東)◆秋穂二島(岩屋、仁光寺)◆嘉川(稽古屋、東本郷、西本郷、下高根、原条西、原条東、中市、福岡、免地、唐樋)◆小郡(前畑、八方原、奥畑、小郡黄金町、維新町、三軒屋、岩屋区、平成町、小郡栄町)◆秋穂(中道、小浜、先青江区、中野)◆阿知須(引野)◆徳地(御所野、深谷)◆阿東(東畑、大坪、店屋、赤根屋、的場、市[宮の原]、羽波、名草、地福市、貞行)

3 今年度の事業計画

制度を知らない方への制度の啓発、相乗りでの利用促進に努める。

申請時に利用目的などのヒアリングを積極的に行う。

シェアサイクル実証事業について

1 概要

市民の皆様の普段の生活における移動手段として、また、観光やビジネスで本市を訪問される方の二次交通として、令和2年9月からシェアサイクル実証事業に取り組んでいる。

今年度は、持続可能な運営体制を構築に向けて、更なる収益性確保などの検証を行うこととしており、この5月1日に利用料金を改定した。

(実証期間:令和2年9月4日～令和8年3月31日)

2 現在の整備状況

・サイクルポート:42箇所

・車両台数:140台(普通自転車:120台 電動アシスト付き自転車:20台)

・利用料金(R7.5.1～)

普通:最初の30分100円(以降10分ごとに50円)

8時間未満上限 1,500円

電動:最初の30分200円(以降10分ごとに100円)

4時間未満上限 1,500円

3 利用状況等

・利用件数 1, 556件(令和7年4月末日現在)
(うち、普通:1, 309件、電動:247件)

(参考)

R2年度: 1, 101件(138件/月)

R3年度: 4, 777件(398件/月)

R4年度: 10, 077件(840件/月)

R5年度: 12, 367件(1, 031件/月)

R6年度: 17, 917件(1, 493件/月)

・利用料金収入 230,460円（令和7年4月末日現在）

（参考）

R2年度： 176,250円（19,583円／月）

R3年度： 524,780円（43,732円／月）

R4年度：1,218,020円（101,502円／月）

R5年度：1,279,790円（106,649円／月）

R6年度：2,398,730円（199,897円／月）

・登録者数 11,513人（令和7年4月末日までの累計）

4 今年度の取組

令和7年4月：4/2山口県立大学フリバフェアにて新入生へシェアサイクル事業チラシの配布、無料キャンペーンの実施

令和7年5月：山口大学学生向け電子掲示板にてシェアサイクル事業周知、無料キャンペーンの実施

：料金改定に合わせたパンフレット発行

（日本語版2,500部、英語版500部）

令和7年6月：新規ポート1か所新設（湯田温泉こんこんパーク供用開始と同時）

令和7年度中：自転車台数の拡充（普通自転車10台追加予定）

※収益性の確保や持続可能な形での本格運行を目指して、異なる時間単位・料金での検証などを行う

バス・タクシー運転士就職奨励金制度について

1 目的

市内の路線バス及びタクシーについては、慢性的に運転士が不足しており、これまで、運転士確保の取組として運転士体験会等を実施してきた。

こうした中、令和6年4月からは、運転士の労働環境を改善するための労働時間の規制強化が行われる、いわゆる「2024年問題」と相まって、運転士不足の状況はさらに深刻化しており、路線廃止や複数の路線において減便が生じたところである。

こうしたことから、「2024年問題」に対応するための緊急対策事業として、市内の路線バス・タクシー事業者(営業所を含む)の運転士として就労(正規雇用)された市内在住者に対する就職奨励金制度を令和6年度に創設し、交付を開始した。

本制度は引き続き防府市とも連携して令和7年度も同内容で取り組む。

2 運転士不足数の状況

令和6年4月現在

バス3社 現在 166人 不足 20人

タクシー12社 現在 206人 不足 66人

※タクシー3社は未回答

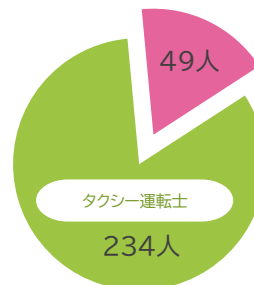
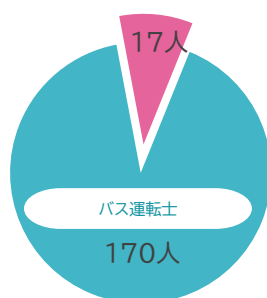
令和7年4月現在

バス3社 現在 170人 不足17人

タクシー14社 現在 234人 不足49人

※全社回答あり

山口市で現状の交通サービスを維持するための運転士の不足数
(令和7年4月現在)



3 山口市バス・タクシー運転士就職奨励金の概要

(1) 奨励金の金額

①バス運転士 200千円/人 (10人程度)

②タクシー運転士 200千円/人 (20人程度)

(2) 令和6年度交付実績

①バス運転士 2名

②タクシー運転士 11名

「交通空白」 解消本部

(R6年7月17日設置)



解消本部と官民連携プラットフォームを両輪として、
「交通空白」の解消に向けた取り組みを強力に推進

「交通空白」解消・ 官民連携 プラットフォーム

(R6年11月25日発足)



地方運輸局・運輸支局による 自治体、交通事業者への伴走支援

603 の首長への訪問

26 の都道府県との連携

1318 の交通事業者への働きかけ



首長への訪問
(鳥取県米子市)



都道府県との連携
(奈良県主催の勉強会)



交通事業者への働きかけ
(山口県タクシー協会)

お困りごとを抱える自治体、交通事業者と、 幅広い分野の企業・団体群の連携・協働体制

★プラットフォーム会員 (R7.4.14時点) 計1135者

①729市町村・47都道府県、②交通関係101団体

③66団体、④パートナー企業192

→ 今後も随時募集



R6/11/25 第1回会合
(約500名が参加)

これまでの取組

第3回「交通空白」解消本部時点で、「空白等」(※)とされていた622市町村が24市町村まで減少する等
全国の自治体に、公共ライドシェア・日本版ライドシェア、乗合タクシー等
「交通空白」解消のツールが着実に浸透

※令和6年5月調査時点で公共・日本版RS未着手の自治体 (一部調査未回答含む)

これまでの取組は、公共RS・日本版RS等に全く未着手の自治体にツールを導入する段階にあり、全国の「交通空白」ひとつひとつの解消は緒に就いたばかり

「集中対策期間(令和7～9年度)」の対応

リストアップされた**個々の「交通空白」(地区単位※)**について、解消に向けた道筋を定める (P)

※例：〇〇市●●地区、▲▲地区

「交通空白」解消に向けた取組方針 (項目例)

- 1) 目の前の「交通空白」への対応
- 2) 「交通空白」解消に向けた持続可能な体制づくり など

国による総合的な後押し

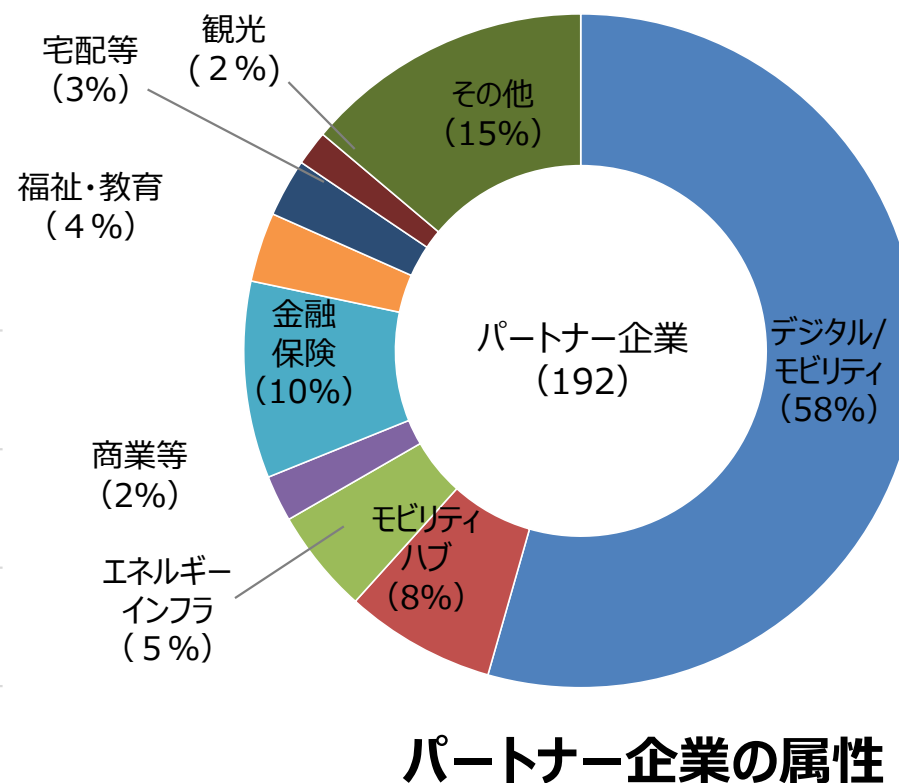
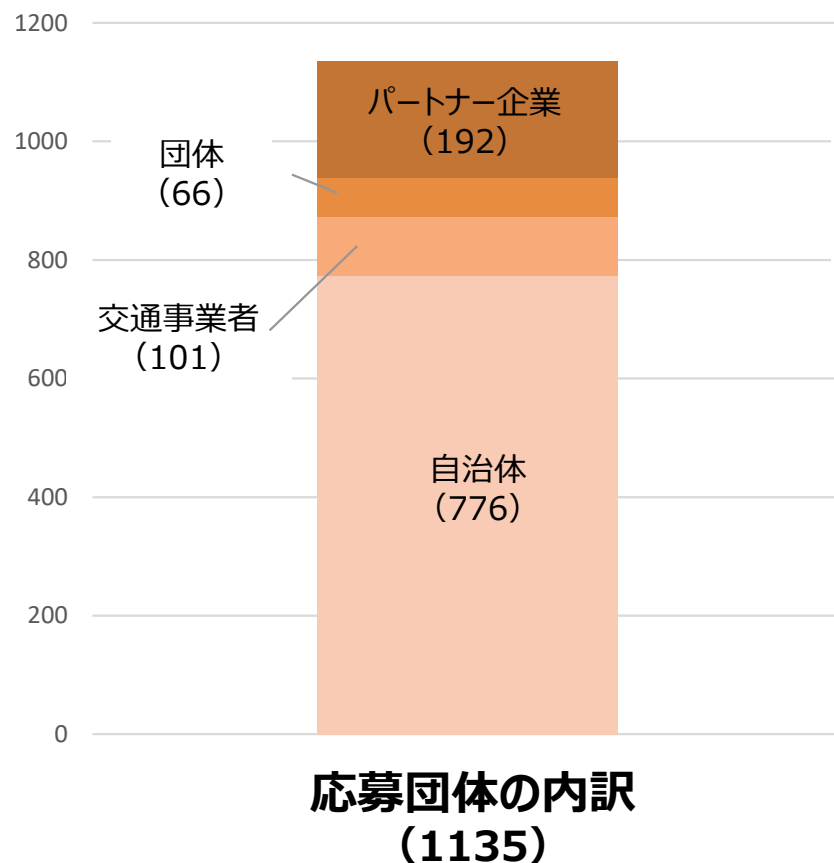
運輸局等による
伴走支援

民間の技術・
サービスの導入

ガイダンス等
支援ツールの提供

実装に向けた
十分な財政支援

- 令和6年11月25日から、官民連携プラットフォームの会員を公募（現在も随時募集中）。
- **参加団体合計（※令和7年4月14日（月）時点）：1135**
うち、自治体：776（市区町村729+都道府県47）、交通事業者：101、団体：66、パートナー企業：192
- （参考）参加団体合計 R7.3.14時点：計1024 うち、自治体：686、交通事業者：97、団体：57、パートナー企業：184
R6.11.25時点：計167 うち、自治体：47、交通事業者：31、団体：31、パートナー企業：58
- 今後、PF会員向けのロゴマークを作成予定



令和 7 年 4 月 11 日
総 合 政 策 局
モビリティサービス推進課

全国の MaaS 推進に向けた支援を実施します！

～令和 7 年度「日本版 MaaS 推進・支援事業」の選定について～

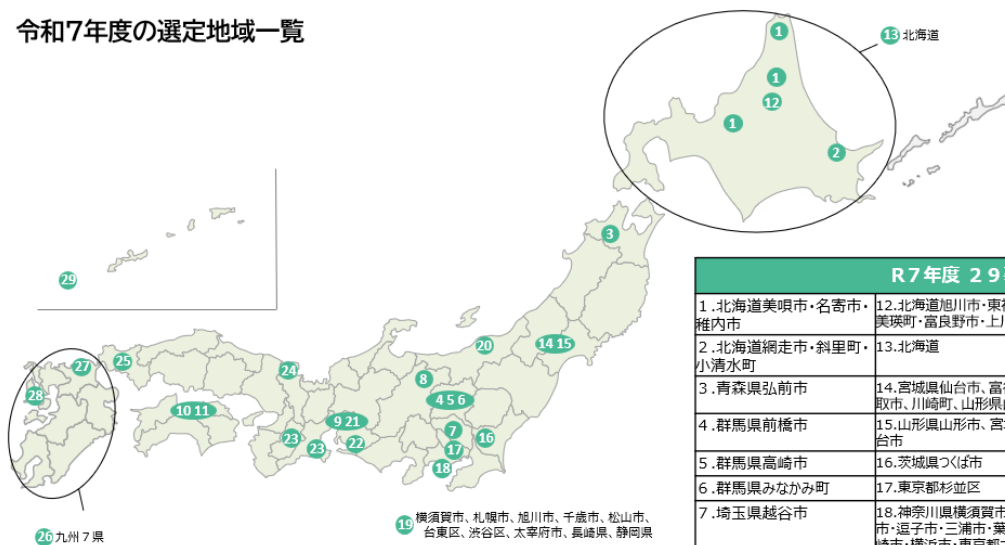
国土交通省では、「交通空白」の解消など地域交通の「リ・デザイン」全面展開を図るため、地域の課題解決に資する MaaS（Mobility as a Service）の導入を支援しています。

令和 7 年度では、全国 29 事業を支援対象として選定しました。

複数の交通事業者の連携・協働により、多様な交通サービスを「一つのサービス」として利用可能とする MaaS の導入を支援するため、令和 7 年度「日本版 MaaS 推進・支援事業」として別紙の 29 事業を選定しました。

国土交通省では、マルチモーダルかつシームレスな移動体験を提供する MaaS を活用し、移動環境の向上やコンテンツ連携を図る取組を推進することで、「交通空白」解消や地域経済の活性化、オーバーツーリズム対策等の地域課題の解決を推進していきます。

令和 7 年度の選定地域一覧



R 7 年度 29 事業		
1.北海道美瑛市・名寄市・稚内市	12.北海道旭川市・東神楽町・美瑛町・富良野市・上川町	23.三重県伊勢市・鳥羽市・志摩市・奈良県吉野町
2.北海道網走市・斜里町・小清水町	13.北海道	24.京都府京丹後市
3.青森県弘前市	14.宮城県仙台市・富谷市・名取市・川崎町・山形県山形市	25.山口県山口市
4.群馬県前橋市	15.山形県山形市・宮城県仙台市	26.九州 7 県
5.群馬県高崎市	16.茨城県つくば市	27.福岡県宗像市
6.群馬県みなかみ町	17.東京都杉並区	28.長崎県長崎市
7.埼玉県越谷市	18.神奈川県横須賀市・鎌倉市・逗子市・三浦市・葉山町・川崎市・横浜町・東京都大田区	29.沖縄県石垣市・竹富町
8.長野県飯山市	19.横須賀市・札幌市・旭川市・千歳市・松山市・台東区・渋谷区・太宰府市・長崎県・静岡県	
9.愛知県春日井市	20.新潟県	
10.香川県	21.愛知県名古屋市中	
11.香川県・愛媛県	22.愛知県豊橋市・豊川市・蒲郡市・新城市・田原市・設楽町・東栄町・豊根村	

【各事業の取組内容】
別紙をご参照ください。

〈お問い合わせ先〉

総合政策局 モビリティサービス推進課

内山、森田、木暮、瀬古（内線 54902、54914、54906、54909）

TEL：（03）5253-8111、（03）5253-8980（直通）

課題	- 山口市ではマイカーでの移動に依存した状況がこのまま 続けば、負のスパイラルにより公共交通の利便 性はさらに低下。 - 公共交通による既存の輸送資源を有効活用し、利便性向上が必要(現状、山口市の特急停車駅に二次交通は整備されているが鉄道と連携した案内が不十分)		
プロジェクト概要	[交通サービスの高度化(マルチモーダルかつシームレスな移動体験の提供)] - MaaSアプリを用いて、経路検索、特急列車予約時の着駅の二次交通案内 - MaaSアプリの経路検索にデマンド交通、タクシーアプリを表示させ、予約を可能とする。	事業エリア/交通事業	事業エリア:山口市／ ・西日本旅客鉄道株式会社(山口線 新山口駅、湯田温泉駅、山口駅) ・富士第一交通(新山口～長門市直行便デマンドの運行事業者) ・山口市内のタクシー事業者 ・山口市内のバス事業者
	[モビリティ・データの取得と活用] - 以下の二次交通の利用状況、デジタルチケットの販売数、MaaSアプリの経路検索・特急列車予約情報から二次交通案内ページへの流入数を測定 - タクシー予約数(時間帯別) (日本版ライドシェア含む) - デマンド交通予約数 - チケット販売数(新山口～長門市/tabiwa)	MaaSアプリ等	- WESTER(JR西日本) - やまぐちTAXIアプリ(REA) - デマンド交通予約システム(JR西日本)
	[エンドコンテンツとの連携] - 交通空白解消に向けた取組みとして、課題のある駅に対して取組みを実施していく。 2026年秋に山口DCが予定されており、観光地との2次アクセスの認知度向上を図る。 - 分析を令和9年度策定予定の山口市地域公共交通計画策定にも活用する。	データの活用等	- データの取得方法 MaaSアプリからの二次交通案内ページへの流入数、タクシー予約数(時間帯別)、 デマンド交通予約数 - データの活用方法 山口市の地域公共交通会議、地域公共交通計画策定に活用
		座組	スケジュール
効果	- マイカーに頼り過ぎない交通まちづくり、公共交通機関利用者の増加。 - 市民の地域公共交通の利用増(バスやタクシーなどの公共交通の利用頻度の向上) - 市外の旅行者の地域公共交通利用増(タクシーアプリ、新山口～長門市直行便の利用者向上)	山口市 告知、データ分析を将来的な公共交通計画に活用 バス事業者 経路検索データ作成 JR西日本 全体統括 システム開発 デマンド予約システム提供 日本旅行 4～6月 要件定義 リアル研究所 7～9月 システム開発 REA 10月～12月 実証運行 やまぐちTAXIアプリ システム提供 タクシー事業者 1月～2月 効果測定 タクシー運行 ※早期改修、設定が可能なものについては早めにサービスインも可能。	
事業の新規性	- 山口市では、これまで、それぞれのモードごとにアプリが提供されていたが、本事業により、MaaSアプリとタクシー配車アプリを連携。 - MaaSアプリの経路検索からデマンド交通を予約		



令和7年5月15日

総合政策局地域交通課

**「交通空白」の解消に向けた
サービスを実施するための取組を支援します！
～令和7年度「『交通空白』解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト」
（「共創モデル実証運行事業・モビリティ人材育成事業」）
の事業採択について～**

国土交通省では、全国の「地域の足」「観光の足」を確保するための「交通空白」の解消に向けた取組を後押しするため、令和7年度「『交通空白』解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト」（「共創モデル実証運行事業・モビリティ人材育成事業」）の公募を行い、「共創モデル実証運行事業」を141件、「モビリティ人材育成事業」を61件の事業を採択いたしました。

1. 事業概要

令和7年度「『交通空白』解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト」は、喫緊の課題として取り組む「交通空白」の解消のほか、地域の多様な関係者が連携・協働した取組など、地域交通の維持・活性化を図る事業を支援するものです。

今回は、「共創モデル実証運行事業」及び「モビリティ人材育成事業」について、「共創モデル実証運行事業」を141件、「モビリティ人材育成事業」を61件の事業を採択しました。（採択事業一覧については別紙参照）

2. 共創モデル実証運行事業

交通を地域の暮らしと一体として捉え、その維持・活性化を目的として、地域における複数の関係者の「共創」（連携・協働）による取組や「共創」を支える仕組みを構築する事業を対象とします。

3. モビリティ人材育成事業

交通に関する知見、交通に関するデータ活用のノウハウ、多様な関係者とのコーディネートを進めるスキル等を活用しながら、地域の交通が目指すべき姿の実現に向けて、主体的かつ継続的に取り組む人材を育成する事業を対象とします。

＜問合せ先＞

国土交通省総合政策局 地域交通課 板垣 菊地 春見 阿南 阿部

TEL：03-5253-8111（内線 54-817, 54-827, 54-828）、03-5253-8987（直通）

<別紙：選定事業一覧>

【共創モデル実証運行事業】（141 件）

事業実施地域	共創プラットフォームの名称	事業名
北海道（倶知安町、余市町、小樽市等後志地域、池田町等十勝地域、北斗市、七飯町、森町、函館市、木古内町等渡島・檜山地域、オホーツク地域、釧路・根室地域、石狩地域）	北海道 MaaS プラットフォーム「ぐる旅北海道」による道内地方部での交通利用促進事業	道内連携デジタルチケット「ぐる旅北海道」による道内地方部での交通利用促進事業
北海道登別市	Noboribetsu ONSSEN Mobility Service Team	登別温泉における交通空白解消事業
北海道洞爺湖町	北海道登別洞爺広域観光圏協議会	洞爺エリアにおけるオーバーツーリズム解消実証事業
北海道札幌市	清田区地域包括ケア共創プラットフォーム	地域包括ケアシステムを支える清田区医療オンデマンド送迎実証事業
北海道石狩市	石狩市地域公共交通活性化協議会共創部会	AI デマンド交通実証運行「いつモ」
北海道新冠町	新冠町地域公共交通活性化協議会（新冠町共創プラットフォーム）	新冠町AIオンデマンド交通実証運行事業
北海道日高町	日高町地域公共交通生活化協議会	日高町全域における共創事業（交通・買い物・健康づくり）への展開
北海道厚真町	厚真町地域共創交通プラットフォーム協議会	路線バス利用補助券の DX 化及びデータ活用による地域交通の利便性向上実証事業
北海道岩内町	岩内町地域地域公共交通共創プラットフォーム	交通・人流データ分析による町内路線ネットワーク再編実証事業
北海道釧路市、鶴居村、羅臼町、別海町、斜里町、網走市、根室市、帯広市	ひがし北海道共創プラットフォーム	ひがし北海道 DX プロジェクト
北海道帯広市	TKタクシー株式会社×株式会社 NearMe	タクシー相乗りサービス「オビヒロコミ☆タク」
北海道小清水町	小清水町地域公共交通活性化協議会実証事業分科会	地域資源を活用し住民自ら地域を支える新しい地域交通サービス実証事業
北海道士別市	士別市習い事応援タクシー実装プラットフォーム	士別市習い事応援タクシー実証実験
北海道中富良野町	デマンド交通による町内移動支援実証事業	交通データ分析による町内交通再編実証事業
北海道奥尻町	奥尻町地域公共交通活性化協議会	奥尻町コミュニティ創出と地域活力創造プロジェクト
岩手県北上市	北工業団地における企業及び地域との協働による移動の足の確保	北工業団地における企業及び地域との協働による移動の足の確保（北上市地域公共交通会議）
秋田県男鹿市	男鹿市地域公共交通共創プラットフォーム	男鹿市乗合タクシー実証運行事業

事業実施地域	共創プラットフォームの名称	事業名
秋田県由利本荘市	由利本荘市地域公共交通活性化再生協議会	「住みやすいまち」由利本荘市AIオンデマンド交通導入実証運行事業
山形県山形市、尾花沢市	山形県村山地域共創観光交通 MaaS	山形県村山地域共創 MaaS 観光交通実証事業
福島県大熊町	復興を加速する地域交通プラットフォーム	復興を加速する地域交通プラットフォーム
福島県郡山市	郡山市子育て支援ネットワーク	郡山市子育て支援送迎事業
福島県矢吹町、玉川村、泉崎村	矢吹町広域モビリティ共創プラットフォーム	矢吹町 AI 活用型オンデマンドバス広域運行実証事業
茨城県大子町、常陸大宮市、常陸太田市	茨城県・県北道の駅共創プラットフォーム	観光×商業×交通活性化プロジェクト～地域を結ぶ道の駅ネットワーク～
茨城県行方市	行方市共創プラットフォーム	交通不便地域 × 新たな移動サービスで持続可能なまち実現に向けた実証実験
栃木県宇都宮市	宇都宮市EVデマンド交通共創プラットフォーム	地域内交通の電動化・脱炭素化に向けた EV デマンド交通の経済性メリット最大化の検証
栃木県佐野市	佐野市地域公共交通協議会	バス・タクシー高齢者助成事業のデジタル化・高度化実証運行
群馬県片品村	片品村における将来的な持続的公共交通再編構築事業	片品村における将来的な持続的公共交通再編構築事業
群馬県館林市	館林市タクシー助成制度検討委員会	マイナンバーカードを活用したタクシー助成システム導入事業
群馬県前橋市	交通×福祉「Go トレを活用した外出支援実証事業」	交通×福祉「Go トレを活用した外出支援実証事業」
群馬県みなかみ町	みなかみ町 観光×交通実証プロジェクト	みなかみ町における持続的公共交通再編構築事業
埼玉県羽生市	羽生市シェアサイクルプロジェクト	羽生市シェアサイクルプロジェクト
千葉県市原市	市原市高齢者/子育て支援タクシープロジェクト	みんなで未来へつなぐ、笑顔の市原タクシープロジェクト
千葉県大多喜町	大多喜町スマートモビリティ共創プラットフォーム	スマートモビリティで繋げる交通及び観光活性化実証事業
千葉県鴨川市	鴨川活性化プロジェクト	鴨川 タクシー活用 観光・地域活性化・子供・子育て支援事業
千葉県流山市	流山スモールモビリティ推進プラットフォーム	シェアサイクルの利便性とアクティビティ性で地域の交通課題を解消する実証運行事業
東京都立川市	立川多様な小型モビリティ推進プラットフォーム	プラスワン立川の実現 ～年間 400 万人の昭和記念公園への来訪者を立川経済圏に誘導するための持続可能な小型モビリティマネジメントの実証～
山梨県甲斐市	甲斐市地域公共交通会議	データ駆動型のモビリティ・ミックス施策による地域交通再編プロジェクト
山梨県甲府市、甲斐市、昭和町	やまなしリニア・地域交通共創プラットフォーム	山梨県広域的交通ネットワーク機能強化プロジェクト
神奈川県川崎市	つばめプロジェクト	地域交通でまちぐるみ健康増進
神奈川県川崎市	川崎市バス路線効率化推進協議会	利用実態に基づく路線バスの運行効率化事業

事業実施地域	共創プラットフォームの名称	事業名
神奈川県松田町、大井町、開成町	足柄共創プラットフォーム	足柄エリア 持続可能なオンデマンド交通への再編事業
神奈川県横浜市	青葉区東部地区 AI オンデマンド交通共創プラットフォーム	横浜市青葉区におけるあおば GO！の社会実装に向けた取り組み
新潟県新潟市	NAMICS×新潟市による新・交通形態構築プラットフォーム	企業輸送と地域交通の融合を目的とした官民連携モデル
新潟県湯沢町	湯沢版 MaaS 推進協議会	湯沢版 MaaS phase2
富山県射水市	射水夜間モビリティ検討協議会	射水夜間モビリティの導入準備事業
富山県射水市	地域共創射水 PF	保護者自主参加型互助送迎「ノッケル倶楽部」共創事業
富山県富山市	富山市地域自主運行バス AI オンデマンド実証共創プラットフォーム	富山市地域自主運行バス AI オンデマンド交通実証事業
富山県南砺市	Goトレ@ふくみつ共創プラットフォーム	Goトレ@ふくみつブラッシュアッププロジェクト
石川県穴水町	穴水町 新・地域公共交通復興共創プラットフォーム	穴水町まちなか交通サービス再構築事業
石川県加賀市	加賀市地域交通プラットフォーム	乗合タクシー×顔バス実証事業
石川県七尾市	能登島地域 再活性化交通プロジェクト	能登島地域再活性化交通プロジェクト
長野県駒ヶ根市	山麓周遊バス事業共創プラットフォーム	山麓周遊バス事業
長野県茅野市、原村	茅野市・原村地域公共交通活性化協議会	AI オンデマンド交通を活用した身体障害者等外出支援実証プロジェクト
長野県茅野市	茅野市高齢者免許返納推進プラットフォーム	AI デマンドバスとタクシーのハイブリット運行による免許返納モニター実証実験
長野県東御市、小諸市	東御まるごと共創プラットフォーム	事業者連携による小中学生送迎手段の多様化
長野県長野市	お出掛け買い物便プラットフォーム	長野市交通不便解消＆お出掛けの楽しみ発見プロジェクト
福井県小浜市、おおい町	小浜～おおい 観光デマンドタクシープラットフォーム	小浜～おおい観光デマンドタクシー実証プロジェクト
福井県坂井市	地域共創坂井 PF	保護者自主参加型互助送迎「ノッケル倶楽部Ⅱ」共創事業
福井県福井市	福井市南西部共創プラットフォーム	福井市南西部オンデマンド交通実証実験事業
福井県福井市、鯖江市、越前市	福井鉄道福武線活性化連携協議会	FUKUI レール&カーシェア実証運行事業
静岡県	しみず港クルーズ客船タクシー観光推進プラットフォーム	クルーズ船寄港時の空白解消とインバウンドタクシー観光のアップデート
静岡県熱海市	伊豆山地域復興まちづくり共創プラットフォーム	熱海市伊豆山地域における復興まちづくり事業
静岡県伊東市	伊東地域交通基盤協議会	伊東地域交通基盤構築事業 2 期－熱海市事業横展開事業－

事業実施地域	事業実施主体	事業名
静岡県掛川市	掛川市交通 DX 実用化共創プラットフォーム	AI オンデマンド交通実証実験事業
静岡県富士市	自動運転バス社会実装推進共創プラットフォーム	新富士駅・富士駅間接続の更なるシームレス化に係る自動運転バス実証運行
静岡県森町、浜松市、袋井市	地域間幹線「秋葉線」の再編プロジェクト	地域間幹線「秋葉線」の再編プロジェクト
静岡県吉田町、牧之原市	吉田町地域公共交通協議会	“ぎゅっと”カーよしの活用で、子育て世代の送迎負担軽減とみんなで実験データを読み解き地域交通を考える機運づくり
愛知県小牧市、犬山市、北名古屋市、豊山町、大口町	尾張北部地域公共交通活性化共創プラットフォーム	尾張北部地域公共交通活性化共創プロジェクト
愛知県名古屋市	千種区「mobi」×地域連携プラットフォーム	持続可能な地域交通ネットワークの再構築プロジェクト
愛知県弥富市	弥富市 AI デマンド交通による外出促進共創プラットフォーム	高齢者等の移動困難者の日常生活における外出支援と行きたいときに、行きたい場所へ気軽なお出掛けをサポートする AI デマンド交通運行事業
三重県いなべ市	自治会ごとの外出促進を支える任意団体「あじさいまごころ隊」	デジタル活用型「外出促進×健康増進×地域交通活性化」事業
三重県津市、伊勢市、鳥羽市、松阪市、志摩市	中部国際空港と中南勢地区を DX で繋ぐ多頻度小型交通事業者の連携プラットフォーム	中部国際空港と中南勢地区を DX で繋ぐ多頻度小型交通連携事業
三重県四日市市、鈴鹿市	河原田地区 AI デマンド交通共創プラットフォーム	河原田地区 AI デマンド交通実証運行事業
滋賀県近江八幡市	つながる近江八幡プラットフォーム	つながる近江八幡～2 次交通でつなぐ、歴史と自然の観光共創モデル～
滋賀県湖南市	ぶらり湖南プラットフォーム	ぶらり湖南観光／2 次交通でつなぐ共創実証運行
京都府宇治市	新たな観光拠点創生にともなう地域交通の再生協議会	新たな観光拠点創生にともなう地域交通の再生事業
大阪府泉佐野市	泉佐野市／観光・生活・子育て・教育タクシープラットフォーム	泉佐野市乗合タクシー実証プロジェクト
大阪府泉南市	泉南ぐるり観光商工プラットフォーム	泉南市スマートモビリティ実証事業
大阪府高槻市	高槻市樫田地区デマンド交通実証運行共創プラットフォーム	高槻市樫田地区デマンド交通実証運行事業
大阪府能勢町、豊能町、兵庫県川西市、猪名川町、京都府亀岡市	北摂里山交通モデル創出協議会	北摂里山における共創型交通拠点モデル創出事業
奈良県生駒市	萩の台住宅地グリスロ導入実証共創プラットフォーム	「グリスロでまちづくりをつなぐ」次世代に継承する持続可能な地域づくり共創事業
奈良県桜井市	桜井に愛に恋プラットフォーム	歴史と未来を結ぶさくらい共創プロジェクト実証事業
奈良県平群町	平群町こども達がつくる未来のまちづくりプラットフォーム	くまがし mobi 共創モデル実証運行事業
兵庫県尼崎市	尼崎市 AI オンデマンド共創プラットフォーム	AI オンデマンド交通「mobi」×「生涯学習」プロジェクト

事業実施地域	事業実施主体	事業名
兵庫県尼崎市	阪神バス×尼崎市×あまがさきドライブスクール×コープ園田店×つかしん×阪急バス	沿線施設とタイアップした「四方よし」の持続可能なモビリティ・マネジメント
兵庫県尼崎市	阪神バス×尼崎市×阪急阪神ホールディングス×阪神電気鉄道	回送経路の営業路線化によるゼロカーボンベースボールパークへのアクセス向上および大物地域の活性化
兵庫県神戸市	KOBE モビリティ共創協議会	交通ビッグデータ等を活用した、EBPM に基づく公共交通利用促進施策の実践による渋滞解消事業
兵庫県神戸市	KOBE モビリティ共創協議会	都市のマルチモーダル交通の最適化とまちなか回遊の活性化の実証運行事業
兵庫県神戸市	「神戸のバス」推進プラットフォーム	共創による路線バスの運賃・サービス統一化に向けた取り組み
兵庫県洲本市	淡路島地域公共交通活性化協議会	洲本市中心市街地の賑わい創出に向けた地域周遊促進事業
兵庫県宝塚市	宝塚市観光モビリティ 共創プラットフォーム(づかモビ)	宝塚市スマートモビリティ×観光周遊実証事業～移動体験を通じた交流人口拡大と地域活性化モデルの構築～
兵庫県丹波市	丹波市路線バス共創プロジェクト構成員:丹波市、丹波市地域公共交通活性化協議会、株式会社ウイング神姫	丹波市路線バス共創プロジェクト
兵庫県養父市	養父市関宮小さな拠点づくり共創プラットフォーム	兵庫県養父市関宮小さな拠点整備事業
和歌山県有田川町	有田川町 お買い物・通院応援プロジェクトプラットフォーム	地域をつなぐ！笑顔をつなぐ！有田川町お買い物・通院応援おでかけサポート共創モデル
和歌山県串本町	串本町 夜のにぎわい創出プラットフォーム	串本町らくらぐルメタクシー共創モデル事業
和歌山県白浜町	白浜町ナイトタクシープロジェクトプラットフォーム	リゾート気分で GO！白浜町ナイトタクシー共創モデル
和歌山県那智勝浦町	勝浦コンパスプラットフォーム	那智勝浦観光活性化実証プロジェクト
鳥取県鳥取市	鳥取砂丘コナン空港と周辺観光地等を結ぶ二次交通改善活動プラットフォーム	鳥取砂丘コナン空港と周辺観光地等を結ぶ二次交通改善活動プラットフォーム
鳥取県鳥取市	とっとり共創型交通協議会	とっとり共創交通プロジェクト 2.0 の概要
広島県	広島県・広島県地域公共交通協議会	広島県地域公共交通利用促進・広島型 MaaS 推進事業
広島県安芸太田町、島根県益田市	国道 191 号線バス路線応援共創プラットフォーム	国道 191 号線バス路線応援共創事業
広島県安芸太田町、北広島町、広島市	芸北地域交通検討実行委員会	持続可能な交通網の創造・都市と地方の人流をデザインする「観光の足」実証事業
広島県江田島市	江田島市移動促進協議会	公共交通でカバーできない移動を市民ボランティアドライバーが送迎～枝葉交通確立による交通弱者の外出喚起～

事業実施地域	事業実施主体	事業名
広島県江田島市	江田島市公共交通共創プラットフォーム	江田島市 フェリー×スマートモビリティ×観光周遊実証事業 ～移動体験を通じた交流人口拡大と地域活性化モデルの構築～
広島県庄原市	庄原 MaaS 検討協議会・共創プロジェクトプラットフォーム	先進過疎地庄原版オールタイムデマンドプロジェクト
広島県広島市	五日市南地区移動改善プラットフォーム	AI オンデマンド交通と定時定路線バスのハイブリッドによる移動改善実証事業
広島県広島市	一般社団法人バス協調・共創プラットフォームひろしま	共創による乗合バス事業の再構築に向けた取組
広島県福山市	福山・笠岡地域公共交通活性化協議会 バス共創プラットフォーム	持続可能なバス路線の再構築に向けた実証事業
広島県福山市、尾道市	広島空港地域共創型乗合タクシー実証運行プラットフォーム	地域共創型広島空港アクセス強化事業～サイクリングを軸とした福山・尾道エリア観光消費拡大～
岡山県玉野市	玉野市リ・デザイン連携会議	福祉×交通×まちづくり 玉野市における「Go トレ実証運行事業」
岡山県玉野市	福祉×交通×まちづくり「TAMANO モビリティ」展開実証事業	福祉×交通×まちづくり「TAMANO モビリティ」の展開実証事業
山口県下関市	下関市産・官・学連携共創プラットフォーム	貨客混載 AI オンデマンド交通事業
山口県周防大島町	周防大島公共交通共創推進プラットフォーム	周防大島町(東和地区白木半島エリア)における交通体系のリ・デザイン実証プロジェクト
山口県田布施町	田布施町地域公共交通共創プラットフォーム	健康に安心して住み続けられる田布施町の環境づくり (交通×福祉×子育て×教育×商業)
山口県長門市	長門市共創プラットフォーム	AI オンデマンド交通導入による地域全体のデジタル活用と活性化
山口県山口市	やまぐち TAXI アプリ共創プラットフォーム	地域共同配車アプリ～やまぐち TAXI アプリ～
香川県琴平町	琴平町地域循環共創プラットフォーム	「交通×農業×観光」の地域循環モデルによる琴平町の持続可能な地域交通と商店街再生プロジェクト
徳島県石井町	生体認証を活用したタクシーチケット(高齢者外出支援)のデジタルチケット化運行実証 PF	【福祉×交通】生体認証を活用したタクシーチケット(高齢者等外出支援)のデジタルチケット化
愛媛県今治市	伯方島モビリティコンソーシアム	公共ライドシェアを用いた貨客混載による持続可能な市民サービスの構築検証
愛媛県内子町	内子町共創プラットフォーム	愛媛県内子町地域参画型の運営による街なかの束ねて輸送サービスの導入実証
愛媛県西条市	せとうち周桑バス LOVESAIJO ポイントプラットフォーム	地域公共交通の再編と地域共創ポイントによるバス利用促進モデル
愛媛県松前町	まさき公共交通共創プラットフォーム	まさきオンデマンド交通実証運行事業
高知県室戸市	室戸市小型モビリティ観光推進プラットフォーム	地域密着型小型モビリティ導入による回遊性向上実証事業
高知県梼原町	エイジングフレンドリーハイヤーサービス「ニコっと・ゆすはら」	エイジングフレンドリーハイヤーサービス「ニコっと・ゆすはら」

事業実施地域	事業実施主体	事業名
福岡県北九州市	エイジングフレンドリータクシーサービス「ほほえみ・さんさん」	エイジングフレンドリータクシーサービス「ほほえみ・さんさん」
佐賀県鹿島市	鹿島 MaaS 構築×EV バス実証運行検討委員会	鹿島 MaaS の導入検討、EV バス導入に向けた実証実験
佐賀県佐賀市	佐賀市小型モビリティ推進プラットフォーム	持続可能な小型モビリティマネジメントの実現による回遊性向上実証事業
長崎県雲仙市	うんぜん共創プラットフォーム（一般社団法人地域イノベーション推進機構、雲仙市、雲仙市教育委員会、遊学の里くみにみ、株式会社 NSP、クラブサンドゥ、FC クーザ）	雲仙市共創モデル実証運行事業
長崎県島原市	たしろ号安全・安心プラットフォーム	たしろ号AED社会実装実験事業
長崎県新上五島町	新上五島町交通ネットワーク共創協議会（事務局：新上五島町交通ネットワーク促進協議会）	まちなかの交通空白を解消し、歩いて暮らせる「新上五島町回遊性アップ」創出事業
長崎県波佐見町、川棚町	波佐見町地域公共交通プラットフォーム	波佐見焼の郷へ「おいでなっせ」・「のんなっせ」プロジェクト（仮称）
熊本県熊本市	上熊本のーと共創プラットフォーム	上熊本駅等を拠点とした「のーと上熊本」の共創 MaaS プロジェクト
熊本県和水町	熊本県和水町医療×交通 ケアバス空白時間を活用した交通プラットフォーム実証事業	熊本県和水町 医療×交通 ケアバス空白時間を活用した交通プラットフォーム実証事業
大分県大分市	大分市住宅団地の移動支援共創プラットフォーム	大分市における住宅団地の移動支援
大分県杵築市	杵築にぎわいのまちづくりプラットフォーム	歴史観光を活かした円滑な移動環境を図る地域公共交通ネットワークプロジェクト
宮崎県高千穂町	高千穂町地域共創プラットフォーム	高千穂峡を中心とした交通空白の解消と観光客の満足度向上に係る実証事業
鹿児島県南九州市	南九州市共創プラットフォーム	南九州市 AI デマンド×地域公共交通 連携活性化事業
沖縄県石垣市	石垣アイランドリンクプラットフォーム	石垣島周遊バス実証運行～クルーズ旅客の回遊促進～
沖縄県多良間村	沖縄多良間共創プラットフォーム	～住み続けられる島へ～多良間島交通共創モデル実証事業
沖縄県名護市	名護市 AI オンデマンド交通共創プラットフォーム	名護市 AI オンデマンド交通共創プラットフォーム事業
沖縄県那覇市、浦添市	沖縄 MaaS 運営会	手荷物配送の活用による「沖縄 MaaS」実証事業

【モビリティ人材育成事業】(61 件)

事業実施地域	事業実施主体	事業名
北海道(各運輸支局管内で1か所ずつ計7か所で実施／札幌・函館・旭川・室蘭・帯広・釧路・北見)	一般社団法人交通環境まちづくりセンター	地域交通人材の育成キャラバン in 北海道
北海道札幌市, 函館市, 後志地域(おもに後志広域連合が介護保険事業事務を担う16町村)	株式会社北海道二十一世紀総合研究所	地域包括ケアシステムを支えるモビリティ人材育成事業
北海道東神楽町, 鳥取県鳥取市, 福岡県北九州市, 直方市	サステナブルなまちづくりに資する地域交通検討の地域内製化に向けたDX事業	サステナブルなまちづくりに資する地域交通検討の地域内製化に向けたDX事業
北海道鷹栖町, 上川地域	北海道鷹栖町	上川地域公共交通コーディネーター育成事業
青森県, 岩手県, 宮城県, 秋田県, 山形県, 福島県	特定非営利活動法人いわて地域づくり支援センター	まちを元気にする地域公共交通の「リ・デザイン」プロデューサー養成事業
青森県五戸町, おいらせ町	特定非営利活動法人まちもびデザイン	共創プロジェクトの実践を通じたモビリティ人材「GENERALIST 育成戦略」の策定
青森県五戸町, 新郷村	青森県三戸郡五戸町	五戸町/新郷村モビリティ人材育成事業
青森県八戸市, 三戸町, 五戸町, 田子町, 南部町, 階上町, 新郷村, おいらせ町	株式会社ケー・シー・エス	八戸圏域の地域公共交通を支え、育てる人材育成プログラム
岩手県, 宮城県, 福島県	一般社団法人サステナビリティ・コーディネーター協会	交通と観光の共創によるサステナブル・モビリティ・コーディネーター人材育成事業
宮城県	株式会社 Wasshoi Lab	宮城県地域交通・デザインアカデミー
山形県西川町, 寒河江市	山形県西川町	西川町・寒河江市広域医療 MaaS 連携モビリティ人材育成事業
山形県山形市, 寒河江市, 上山市, 村山市, 天童市, 東根市, 尾花沢市, 山辺町, 中山町, 河北町, 西川町, 朝日町, 大江町, 大石田町	おもてなし山形株式会社	山形県村山地域共創 MaaS 人材育成事業

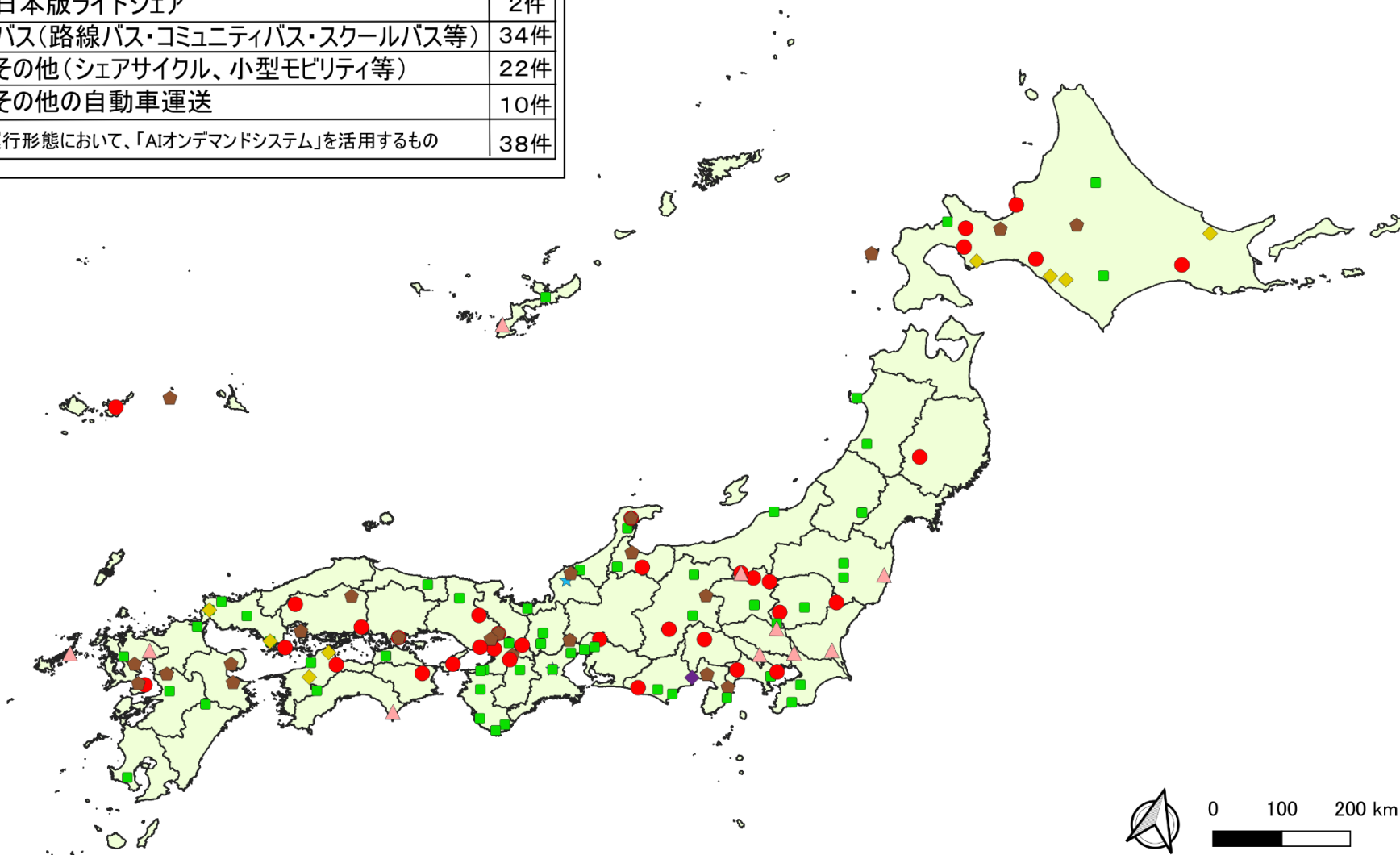
事業実施地域	事業実施主体	事業名
福島県会津若松市, 喜多方市, 会津坂下町, 湯川村, 柳津町, 会津美里町	会津圏域公共交通活性化協議会	圏域公共交通を支える人材連携プログラム～管理職層から担当者層までの育成で、実効性ある計画策定へ～
福島県田村市, 三春町	福島県田村市	持続可能な公共交通体制の仕組みづくりに向けた地域人材育成事業
茨城県日立市, 常陸太田市, 高萩市	株式会社みちのりホールディングス	地域共創型・行政区域をまたぐ地域生活圏交通リデザインプログラム
茨城県ひたちなか市	一般社団法人ローカル鉄道・地域づくり大学	ローカル鉄道・地域づくり大学
栃木県	栃木県地域公共交通活性化協議会	地域交通・デザイン構想のための戦略的施策立案・合意形成人材育成事業
群馬県沼田市, 片品村, 川場村, 昭和村, みなかみ町	沼田市役所	利根沼田地域定住自立圏モビリティ人材グループの育成事業
埼玉県さいたま市	一般財団法人さいたま市都市整備公社	葉の交通サービスプロデューサー育成事業
東京都, 広島県広島市, 福岡県福岡市	株式会社角川アスキー総合研究所	令和7年度「交通空白」解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト(モビリティ人材育成事業)
神奈川県横浜, 川崎市	LocaliST 株式会社	地域交通共創メンター&コーディネーター同時育成
富山県, 広島県	ヒトとマチの動かし方研究会 UgoQ	モビリティ資源の運用・価値創造に向けた企業×自治体・地域コミュニティ連携育成事業
富山県黒部市, 広島県福山市	一般社団法人 SMART ふくしうラボ	コミュニティドライブプロジェクト ～地域の移動はみんなでつくる～
富山県高岡市, 氷見市, 射水市	非営利特定活動法人 RACDA 高岡	チームで学び実践する、公共交通と地域課題解決法
富山県富山市, 高岡市	一般社団法人トヤマチミライ	富山エリアの交通課題解決に向けたまちづくり人材育成事業
長野県上田市	特定非営利活動法人上田市民エネルギー	「公民連携強化と利用者目線によるモビリティマネジメント」を担う人材とチームの育成事業
長野県佐久穂町, 小海町, 佐久市	佐久穂町	佐久穂町・小海町・佐久市3市町広域モビリティ人材育成事業
長野県塩尻市, 茅野市, 富士見町, 原村	株式会社 MaaS Tech Japan	Smart Mobility & 地域交通計画 アップデート支援 Academy
長野県東御市	合同会社まるごと	東御市およびその周辺地域における交通・まちづくりDX人材育成プログラム
福井県福井市	一般社団法人福井県まちづくりセンター	福井県公共交通の運転手不足を解消する人材育成事業
岐阜県岐阜市, 愛知県春日井市, 和歌山県太地町	株式会社オリエンタルコンサルタンツ	運用プロセスアセスメントによる持続的な自動運転移動サービスの提供に活用できる人材の育成事業
愛知県名古屋	愛知県	愛知県「地域交通リーダー」養成プロジェクト

事業実施地域	事業実施主体	事業名
愛知県名古屋市	国立大学法人東海国立大学機構・名古屋大学	地域公共交通コーディネーター・プロデューサー養成プロジェクト
愛知県名古屋市	合同会社萬創社	地域公共交通計画に関わるコンサルタント若手技術者向け研修
三重県名張市	地域で支えるコミュニティ交通人材育成事業	地域で支えるコミュニティ交通人材育成事業
滋賀県,京都府,大阪府,奈良県,兵庫県,和歌山県	持続可能なまちと交通をめざす再生塾	再生塾実務者実践セミナー開催事業
滋賀県草津市,彦根市,日野町	人と環境にやさしい交通まちづくりプラットフォーム滋賀(やさしい交通しが)	滋賀地域交通ワークショップ参加者から交通世話役を育てるプロジェクト
滋賀県湖南市,甲賀市	湖南市役所	企業共同運行バスの実現に向けた人材育成プロジェクト
京都府,大阪府,兵庫県	阪急電鉄株式会社	沿線の公共交通の未来を考える取組～持続可能なまちづくりに向けて～
京都府笠置町,南山城村,和束町	関電サービス株式会社	JR 関西本線(加茂以東)沿線地域モビリティ人材育成事業
京都府京田辺市,木津川市,精華町	一般社団法人京都スマートシティ推進協議会	けいはんな広域連携モビリティ導入モデル確立に向けた推進人材育成事業
大阪府摂津市	摂津市地域公共交通協議会	事業所経営者の育成による従業員の公共交通ソフト促進
兵庫県川西市,宝塚市,西宮市,伊丹市,尼崎市,猪名川町,大阪府豊能町,能勢町	阪神エリア・モビリティ人材育成プラットフォーム	地域の主体的な取組推進に向けた地域住民・地方議員の育成プログラム
兵庫県神戸市	交通 EBPM 推進協議会(事務局代表・株式会社ケー・シー・エス)	交通データを活用した EBPM 分析活用人材育成事業
兵庫県神戸市	神戸市役所	観光誘客・回遊性向上のためのデータ利活用人材育成
兵庫県豊岡市,朝来市,養父市,香美町,新温泉町	但馬地域鉄道利便性向上対策協議会	但馬地域における交通連合の検討を通じた「人財」育成
奈良県平群町,生駒市,岩手県紫波町	一般社団法人くまがしクラブ	「くまがし mobi」広域啓発・モビリティ人材育成事業
島根県西ノ島町,海士町	島根県西ノ島町	隠岐諸島 観光二次交通コーディネーター育成事業
広島県呉市	中国エリア地域交通マネジメント人材交流プラットフォーム	中国エリア地域交通マネジメント実務実践人材育成事業
広島県福山市	エリアプラットフォーム・カミハチキテル	「都市課題×交通課題」を共創的に解決する実践的人材育成 ～相生通りトランジットパーク化を題材に～
広島県福山市,府中市,岡山県井原市	公益社団法人 福山観光コンベンション協会	共創型モビリティ人材育成による広島・岡山広域観光振興 ～移動利便性向上と周遊拡大に向けたネットワークづくり～

事業実施地域	事業実施主体	事業名
福岡県	株式会社 MaaS Tech Japan	イシューに基づくデータ活用による地域交通アップデート人材の育成
佐賀県鹿島市,太良町	鹿島市	鹿島市公共交通通り・デザイン人材育成プロジェクト
長崎県佐世保市	佐世保市	モビリティ人材育成～「西九州させぼ広域都市圏」への展開を見据えた、佐世保市・佐々町における持続可能な公共交通モデルを検討する人材の育成～
長崎県新上五島町	新上五島町 SmartGOTO データ利活用推進協議会(事務局:新上五島町交通ネットワーク促進協議会)	新上五島町交通ビックデータ利活用及びオペレーション人材育成事業
長崎県長与町,時津町	長崎県長与町	長崎県西彼杵郡(長与町・時津町)地域公共交通コーディネーター育成事業
熊本県熊本市,嘉島町	熊本市	熊本地域交通未来創造人材育成プログラム
大分県大分市,別府市	トヨタカローラ大分株式会社	大分未来をつなぐ! モビリティ・コミュニティハブ共創人材育成プロジェクト～大分から全国へ～
鹿児島県	モビリティのミライ@かごしま	鹿児島県自動車販売ディーラーの協働を核とする「産学官言連携による実践的モビリティ人材育成プログラム」の開講
沖縄県名護市,国頭村,大宜味村,東村,今帰仁村,本部町,恩納村,宜野座村,金武町,伊江村,伊平屋村,伊是名村	株式会社ホロラボ	沖縄県北部エリアにおける広域モビリティコーディネーター育成事業
沖縄県宮古島市,石垣市,竹富町,与那国町	株式会社オリエンタルコンサルタンツ沖縄支社	宮古・八重山圏域 観光モビリティ人材育成プロジェクト

<凡例(主要な運行形態)>

★	鉄道・航路等	3件
■	タクシー・乗合タクシー	60件
◆	公共ライドシェア	10件
◆	日本版ライドシェア	2件
●	バス(路線バス・コミュニティバス・スクールバス等)	34件
▲	その他(シェアサイクル、小型モビリティ等)	22件
■	その他の自動車運送	10件
各運行形態において、「AIオンデマンドシステム」を活用するもの		38件



令和7年度 山口市公共交通委員会予算書

歳入					【単位：千円】
科 目		予算額	節		説 明
款項目			区 分	金額	
1	負担金	4,494			
	1 負担金	4,494			
	1 負担金	4,494	1 地域負担金	4,494	山口市負担金（公共交通委員会運営事業負担金） 365 山口市負担金（交通政策推進事業負担金） 4,129 県央連携都市圏域市町負担金（公共交通活性化事業負担金） 0
2	諸収入	230			
	1 諸収入	230			
	1 雑入	230	1 預金利子	1	預金利子
			2 広告掲載収入	229	総合時刻表広告掲載収入
合計		4,724			

【単位：千円】					
科 目		予算額	節		説 明
款項目			区分	金額	
1	運営費	365			
	1 会議費	335			
		335	8 報償費	150	報償金 150
			9 旅費	150	費用弁償 150
			11 需用費	15	消耗品費 15
			12 役務費	20	通信運搬費 20
	2 事務費	30			
		30	11 需用費	10	消耗品費 10
			12 役務費	20	手数料 20
2	事業費	4,359			
	1 事業費	4,359			
		4,359	8 報償費	100	報償金 100
					モビリティ・マネジメント講師謝礼 50
					公共交通活性化（運転士体験会）謝礼 50
					市民公共交通週間（フェスタ）謝礼 0
			9 旅費	80	旅費 80
					モビリティ・マネジメント講師旅費 30
					公共交通活性化（運転士体験会）講師旅費 50
					市民公共交通週間（フェスタ）旅費 0
			11 需用費	2,374	消耗品費 270
					モビリティ・マネジメント消耗品 50
					公共交通週間（フェスタ）消耗品 170
					公共交通教室消耗品 50
					公共交通活性化（運転士体験会）消耗品 0
					印刷製本費 2,104
					総合時刻表、マップ作成 1,704
					ノーマイカーデーカード・ポスター・チラシ 250
					モビリティ・マネジメント リーフレット 150
					公共交通週間ポスター・チラシ 0
					公共交通活性化（運転士体験会）ポスター 0
			12 役務費	230	通信運搬費 180
					ノーマイカーデー依頼文、カード、チラシ送付 50
					公共交通週間案内 0
					モビリティ・マネジメントアンケート送付 30
					時刻表、交通マップ送付 100
					公共交通活性化（運転士体験会） 0
					広告料 50
					ノーマイカーデー周知 50
					公共交通週間 周知広告 0
					公共交通活性化（運転士体験会） 0
					保険料 0
					市民公共交通週間（フェスタ） 0
					公共交通活性化（運転士体験会） 0
			13 委託料	1,150	業務委託料 1,150
					総合時刻表作成 100
					公共交通週間（フェスタ）イベント開催等業務委託 0
					バス事業者バックヤードツアー 150
					パーク・サイクル・アンド・ライド駐輪区画・サイン作成業務委託 200
					モビリティ・マネジメント 商工会議所委託 700
			14 使用料及び賃借料	51	施設等借上料 50
					公共交通週間駐車場等施設借上料 50
					公共交通活性化（運転士体験会）会場借り上料 0
					土地借上料 1
					サイクル・アンド・ライド案内表示板占用使用料 1
			19 負担金補助及び交付金	374	負担金 374
					公共交通活性化（運転士体験会）負担金 374
合計		4,724			

令和7年度 山口市公共交通委員会 運営費及び事業費内訳

【単位：千円】

運営費					
		R6予算額(A)	R7予算額(B)	増減(B)-(A)	
		665	365	▲ 300	365
会議費		635	335	▲ 300	
	報償費	300	150	▲ 150	報償金
	旅費	300	150	▲ 150	費用弁償
	需用費	15	15	0	消耗品費
	役務費	20	20	0	通信運搬費
事務費		30	30	0	
	需用費	10	10	0	消耗品費
	役務費	20	20	0	手数料
運営費小計					365

事業費

マイカーに頼り過ぎない交通まちづくりの推進 1,780

公共交通を育て支える意識の啓発

		R6予算額(A)	R7予算額(B)	増減(B)-(A)	
		1,570	1,060	▲ 510	
公共交通教室		50	50	0	
	需用費	50	50	0	消耗品費
モビリティ・マネジメント					公共交通教室消耗品
	報償費	60	50	▲ 10	報償金
	旅費	30	30	0	モビリティ・マネジメント 講師謝礼
	需用費	400	200	▲ 200	費用弁償
					モビリティ・マネジメント 講師旅費
					消耗品費
					モビリティ・マネジメント 消耗品
					印刷製本費
					モビリティ・マネジメント リーフレット
	役務費	30	30	0	通信運搬費
					モビリティ・マネジメント アンケート送付
委託料		1,000	700	▲ 300	
					業務委託料
モビリティ・マネジメント 商工会議所委託					700

ノーマイカーの推進

		R6予算額(A)	R7予算額(B)	増減(B)-(A)	
		3,947	720	▲ 3,227	
公共交通週間		3,547	370	▲ 3,177	
	報償費	30	0	▲ 30	報償金
					市民公共交通週間（フェスタ）謝礼
	旅費	60	0	▲ 60	旅費
					市民公共交通週間（フェスタ）旅費
	需用費	1,200	170	▲ 1,030	消耗品費
					公共交通週間（フェスタ）消耗品
					印刷製本費
					公共交通週間ポスター・チラシ
	役務費	180	0	▲ 180	保険料
					市民公共交通週間（フェスタ）
					通信運搬費
					公共交通週間案内
					広告料
委託料		2,027	150	▲ 1,877	公共交通週間 周知広告
					業務委託料
使用料及び賃借料		50	50	0	公共交通週間イベント開催等業務委託
					バス事業者バックヤードツアー
ノーマイカーデー		400	350	▲ 50	施設等借上料
					公共交通週間駐車場等施設借上料
需用費		300	250	▲ 50	
					印刷製本費
役務費		100	100	0	ノーマイカーデーカード・ポスター・チラシ
					通信運搬費
広告料					ノーマイカーデー依頼文、カード、チラシ送付
					ノーマイカーデー周知

【単位：千円】

事業費

利用しやすい公共交通環境の整備

2,105

利用者の視点に立ったサービスの向上

		R6予算額(A)	R7予算額(B)	増減(B)-(A)		
		3,280	1,904	▲ 1,376		
時刻表・マップ作成		3,280	1,904	▲ 1,376		
	需用費	3,000	1,704	▲ 1,296	印刷製本費	1,704
					総合時刻表、マップ作成	1,704
	役務費	100	100	0	通信運搬費	100
					時刻表、交通マップ送付	100
	委託料	180	100	▲ 80	業務委託料	100
					総合時刻表作成	100

待合・乗継環境の向上

		R6予算額(A)	R7予算額(B)	増減(B)-(A)		
		351	201	▲ 150		
パーク・アンド・ライド サイクル・アンド・ライド		351	201	▲ 150		
	委託料	350	200	▲ 150	業務委託料	200
				0	パーク・サイクル・アンド・ライド駐輪区画・サイン作成業務委託	200
	使用料及び賃借料	1	1	0	土地借上料	1
					サイクル・アンド・ライド案内表示板占用使用料	1

日常生活を支える持続可能な生活交通の確保

474

公共交通機関の維持・確保

		R6予算額(A)	R7予算額(B)	増減(B)-(A)		
		1,520	474	▲ 1,046		
運転士体験会		1,520	474	▲ 1,046		
	報償費	60	50	▲ 10	報償金	50
					公共交通活性化事業（運転士体験会）謝礼	50
	旅費	60	50	▲ 10	旅費	50
					公共交通活性化事業講師旅費	50
	需用費	320	0	▲ 320	消耗品費	0
					公共交通活性化（運転士体験会）消耗品	0
					印刷製本費	0
					公共交通活性化事業（運転士体験会）ポスター	0
	役務費	1,040	0	▲ 1,040	通信運搬費	0
					公共交通活性化事業（運転士体験会）	0
					広告料	0
					公共交通活性化（運転士体験会）	0
					保険料	0
					公共交通活性化（運転士体験会）	0
	使用料及び賃借料	40	0	▲ 40	施設等借上料	0
					運転士体験会会場借り上料	0
	負担金補助及び交付金	0	374	374	負担金補助及び交付金	374
					負担金	374

事業費小計 4,359

合計 4,724

R6予算額計(A)	R7予算額計(B)	増減(B)-(A)
11,333	4,724	▲ 6,609

山口市公共交通委員会設置要綱

(目的)

第1条 山口市公共交通委員会（以下「委員会」という。）は、山口市の交通政策を総合的に調査審議し、まちづくりと連動した交通政策を推進することを目的とする。

(事務所)

第2条 委員会は、事務所を山口県山口市亀山町2番1号に置く。

(定義)

第3条 この要綱において、「事業計画」とは、山口市市民交通計画に基づく実施計画及び地域公共交通の活性化及び再生に関する法律（平成19年法律第59号）第5条第1項の規定に基づく地域公共交通計画を兼ねた計画をいう。

(事業)

第4条 委員会は、第1条の目的を達成するため、次の業務を行う。

- (1) 事業計画の策定及び変更に係る協議並びに実施に係る連絡調整に関すること。
- (2) 事業計画に基づく事業の実施、評価及び改善に関すること。
- (3) 交通政策に係る事業の審議に関すること。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、委員会の目的を達成するために必要なこと。

(委員)

第5条 委員会の委員は次に掲げる者（団体にあっては、その団体の役員又は職員）とする。

- (1) 山口市副市長
- (2) 学識経験者
- (3) 山口市自治会連合会
- (4) 公募市民
- (5) 国土交通省中国運輸局山口運輸支局
- (6) 国土交通省中国地方整備局山口河川国道事務所
- (7) 山口県観光スポーツ文化部交通政策課
- (8) 山口県警察本部
- (9) 山口県防府土木建築事務所
- (10) 西日本旅客鉄道株式会社
- (11) 山口市社会福祉協議会
- (12) 山口商工会議所
- (13) 一般乗用旅客自動車運送事業者
- (14) 一般乗合旅客自動車運送事業者
- (15) その他委員長が必要と認める者

(委員の任期)

第6条 委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、委員が欠けた場合における補欠又は増員による任期は、前任者又は現任者の残任期間とする。

(役員の定数及び選任)

第7条 委員会に次の役員を置く。

- (1) 委員長 1名

(2) 副委員長 1名

(3) 監事 2名

2 前項の役員のうち、委員長は、山口市副市長とし、副委員長は、学識経験者の中から委員長が任命する。

3 監事は、委員の中から委員長が任命する。

4 委員長、副委員長及び監事は、相互に兼ねることができない。

(役員の職務)

第8条 委員長は、委員会を代表し、その会務を総理する。

2 副委員長は、委員長を補佐して委員会の業務を掌理し、委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときは、委員長の職務を代理する。

3 監事は、次の各号に掲げる業務を行う。

(1) 委員会の業務執行及び会計の状況を監査すること。

(2) 前号において不整な事実を発見したときは、これを委員長に報告すること。

(3) 前号の報告をするために必要があるときは、委員会を招集すること。

(会議)

第9条 委員会の会議（以下「会議」という。）は、委員長が招集し、委員長が議長となる。

2 会議の招集は、少なくともその開催の7日前までに、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面をもって委員に通知しなければならない。

3 会議は、委員の過半数の出席がなければ、開くことができない。

4 会議の議事は、出席した委員及び次条の規定により議決権を行使した委員の全員の賛成をもって議決する。

5 委員長は、前項の議決された事項を、速やかに山口市長に報告しなければならない。

6 会議は原則として公開とする。ただし、会議を公開することにより公正かつ円滑な議事運営に支障が生じると認められる協議については、非公開で行うものとする。

7 委員会は、必要があると認めるときは、委員以外の者に対して、資料を提出させ、又は会議への出席を依頼し、助言等を求めることができる。

8 前7項に定めるもののほか、会議の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

(書面又は代理人による表決)

第10条 やむを得ない理由により会議に出席できない委員は、あらかじめ通知された事項につき、書面又は代理人をもって議決権を行使することができる。

2 前項の書面は、会議の開催の日の前日までに委員会に到着しないときは、無効とする。

3 第1項の代理人は、代理権を証する書面を委員会に提出しなければならない。

(協議結果の尊重義務)

第11条 委員会で協議が整った事項については、委員会の委員はその協議結果を尊重しなければならない。

(事務局)

第12条 委員会の業務を処理するため、委員会に事務局を置く。

2 事務局は、山口市都市整備部交通政策課に置く。

3 事務局に事務局長、事務局員を置き、委員長が定めた者をもって充てる。

4 事務局に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

(資金)

第13条 委員会の資金は、次の各号に掲げるものを充てる。

(1) 国からの補助金

(2) 第5条に掲げる委員の属する機関の負担金

(3) その他の収入

(財務に関する事項)

第14条 委員会の予算編成、現金の出納その他財務に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

(委員会が解散した場合の措置)

第15条 委員会が解散した場合は、委員会の収支は、解散の日をもって打ち切り、委員長であった者がこれを決算する。

(委任)

第16条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営上必要な事項は、委員長が別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この要綱は、平成20年2月1日から施行する。

(経過措置)

2 委員会の設立初年度の委員の任期については、第6条の規定にかかわらず、平成22年3月31日までとする。

附 則

この要綱は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成30年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、令和4年4月1日から施行する。